

第2期鹿沼市スポーツ推進計画

令和4（2022）年度～令和8（2026）年度



令和4年3月
鹿沼市教育委員会

はじめに



本市では、平成27年3月に「かぬまスポーツ振興プラン」を策定し、「鹿沼市総合計画」及び「鹿沼市教育ビジョン」に掲げた“スポーツでつくる健康都市”の実現に向け、市民1人1スポーツを目標に今日まで様々な取り組みを進めてまいりました。

この間、国では、平成29年3月に「第2期スポーツ基本計画」を策定し、スポーツを通じた「健康増進」「共生社会の実現」「経済・地域の活性化」などの活力ある社会づくりについて地方公共団体においても取り組むこととしております。

また、昨今は、世界的な規模で新型コロナウイルス感染症の拡大が進み、様々なスポーツ活動が中止・延期等を余儀なくされる等、スポーツを取り巻く社会の情勢や環境は大きく変化し、スポーツに関する市民のニーズや価値観も多様化してきております。

このような状況を踏まえ、現計画が令和3年度に計画期間が満了となることから、本市の上位計画である「第8次鹿沼市総合計画」「第2次鹿沼市教育ビジョン」における分野別計画として、この度、「かぬまスポーツ振興プラン」の改定を行い、名称を「第2期鹿沼市スポーツ推進計画」と改めました。

スポーツの語源はラテン語の「deportare（デポルターレ）」とされており、元々の「運びさる、憂いを持ち去る」という意味が転じて、「気晴らし」「遊び」「楽しみ」を意味するようになったとされています。本計画の策定にあたっては、そのスポーツの本質の部分を念頭に置き、市民の誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しみ、健康で豊かな生活が送れるまちづくりの実現を目指し、様々な施策に取り組んでいくことといたしました。

今後、本計画に基づき、関係機関・団体等と連携を図りながら、目標の実現に向け取り組んでまいりますので、本計画の推進に向けて、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月

鹿沼市教育委員会教育長 中村 仁

目次

第1章 計画の概要

1 策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画の期間	2
4 目標実現に向けての連携	3
5 「SDGs（持続可能な開発目標）」への取り組み	4
6 計画の進行管理	4
7 本計画におけるスポーツの定義	4

第2章 現状と課題

1 現状と課題	5
---------------	---

第3章 基本理念

1 基本理念	11
2 基本目標	12
3 基本施策	13

第4章 基本施策における取り組み内容

基本施策1 市民のスポーツ参画人口の拡大	14
1 ライフステージに応じたスポーツ活動	14
2 組織、人材の育成	17
3 スポーツを通じた健康づくり	18
基本施策2 スポーツによる交流、活力ある地域づくり	19
1 交流人口の増加と市民のスポーツ意識の醸成	19
基本施策3 スポーツができる環境の整備、利活用	21
1 施設の長寿命化、統廃合、学校開放	21

【資料編】

● 市民のスポーツに関する意識調査結果	22
● スポーツ基本法（抜粋）及び鹿沼市スポーツ推進審議会条例（抜粋）	47
1 スポーツ推進審議会委員名簿	48

第1章 計画の概要

1 策定の趣旨

本市では、平成27年度に策定した「かぬまスポーツ振興プラン」において、「鹿沼市教育ビジョン」で掲げた“スポーツでつくる健康都市の実現”を目標に、「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の3つの充実をスポーツ推進の柱として、年齢や性別、身体状況に関わらず、広く人々の興味や適性等に応じてスポーツに参画することができる環境の整備を目的に本市のスポーツ施策を推進してきました。

この間、スポーツを取り巻く社会の情勢や環境は変化を続けており、スポーツに関する市民のニーズや価値観も多様化してきています。

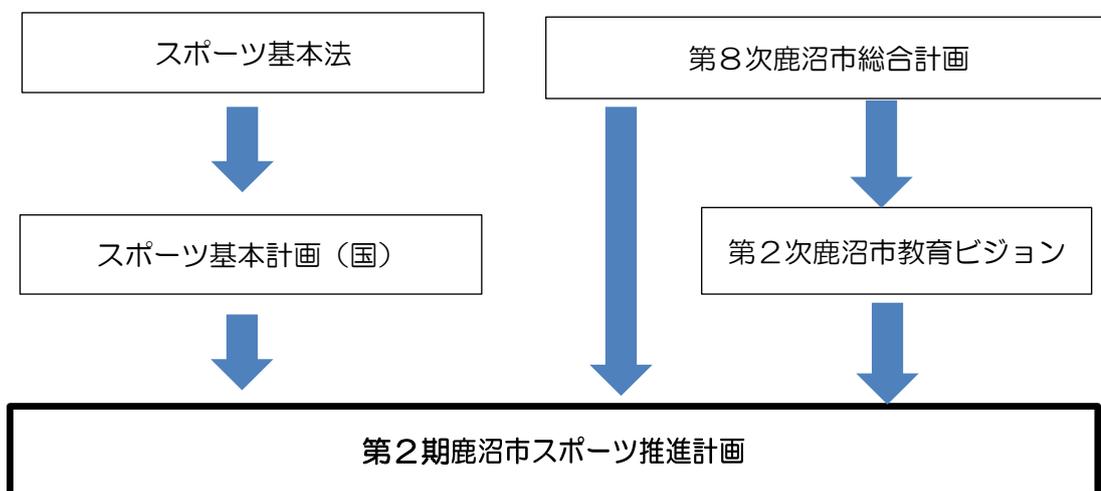
国では、平成29年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」において、地方の特性や現場のニーズに応じたスポーツの施策を主体的に実施するとともに、「スポーツを通じた健康増進」、「共生社会の実現」や「経済・地域の活性化」などスポーツを通じた活力ある社会づくりに取り組むことを地方公共団体に求めています。

このような状況を踏まえ、本市では令和3年度に「市民のスポーツに関する意識調査」を実施し、市民のスポーツに関する意識や取り組み状況の分析をもとに、より一層スポーツの推進を図るため、本計画を改定しました。

なお、改定にあたり、名称を「鹿沼市スポーツ推進計画」に変更します。

2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に基づく地方スポーツ推進計画として策定するものであり、国の「スポーツ基本計画」及び県の「スポーツ推進計画」との調和を図りつつ、本市の上位計画である「第8次鹿沼市総合計画」、「第2次鹿沼市教育ビジョン」における分野別計画として、スポーツに関する施策を具体的に示し、スポーツを総合的に推進していくための計画として位置づけます。



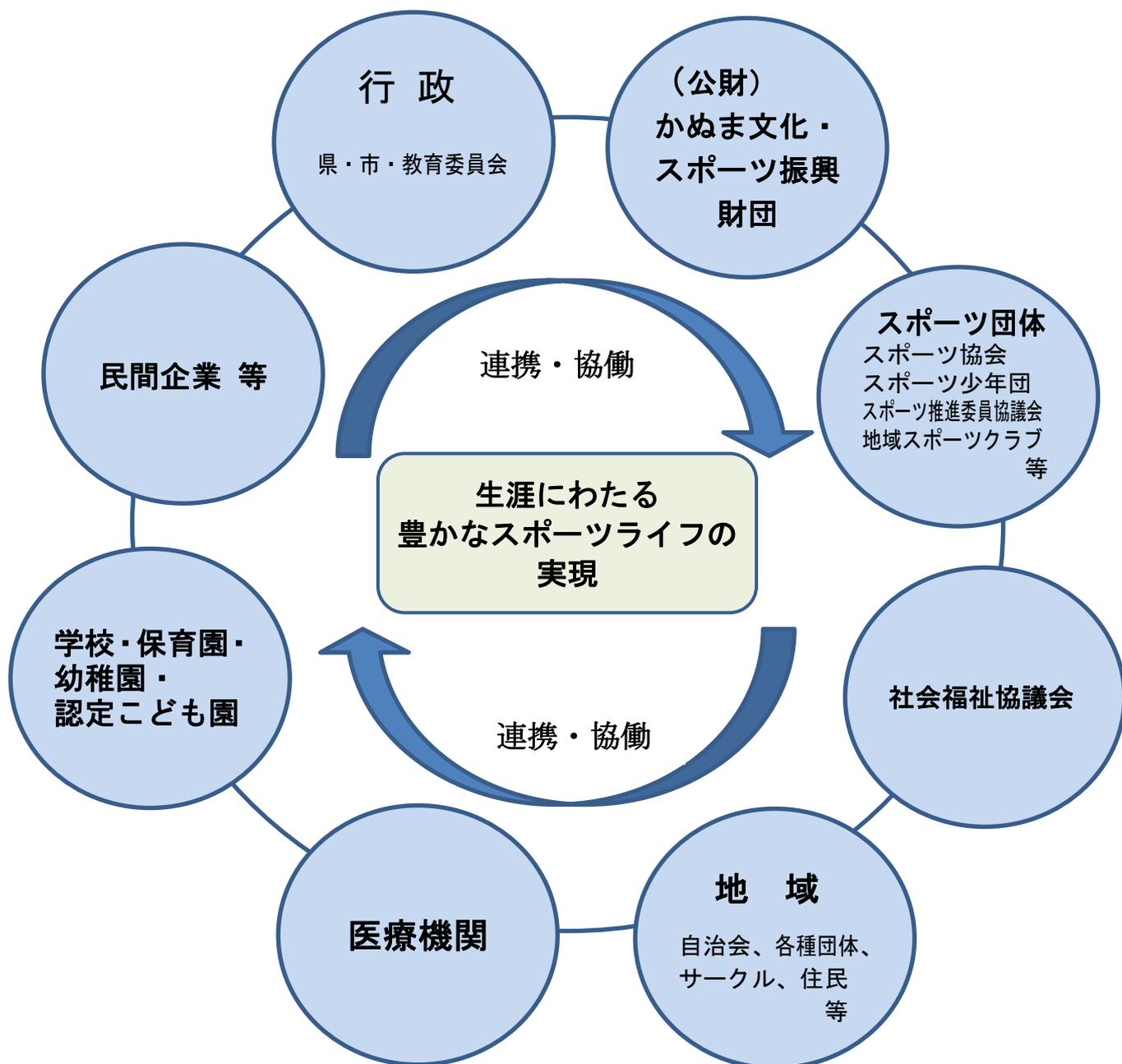
3 計画の期間

本計画の期間は、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間とします。
 なお、進捗状況や社会情勢に急激な変化などが生じた場合、必要に応じて見直しを行います。

年度	～令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
国	第2期スポーツ基本計画 (平成29～令和3)		第3期スポーツ基本計画 (令和4～令和8)				
県	栃木県スポーツ推進計画2020 (平成28～令和2)		栃木県スポーツ推進計画2025 (令和3～令和7)				
鹿 沼 市	第7次鹿沼市総合計画 (平成29～令和3)		第8次鹿沼市総合計画 (令和4～令和8)				
	鹿沼市教育ビジョン (平成24～令和3)		第2次鹿沼市教育ビジョン (令和4～令和8)				
	かぬまスポーツ振興プラン (平成27～令和3)		第2期鹿沼市スポーツ推進計画 (令和4～令和8)				

4 目標実現に向けての連携

本計画に記載のある施策を展開するにあたっては、市民と行政、関係機関が連携・協働し、目標実現に向けて取り組みます。



5 「SDGs（持続可能な開発目標）」への取り組み

グローバル化の進展により、各国が様々な分野で相互に影響し依存する度合いが強まる中で、経済、環境問題、エネルギー資源開発、貧困、紛争など、地球規模での人類共通の課題が取り沙汰されています。そのような状況を踏まえ、平成 27（2015）年の国連サミットにおいて、2030 年までの国際目標として、17 のゴールと 169 のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択されました。

本計画は、SDGs の 17 の目標のうち、下記の目標と深く関連する計画となっています。

- 「3 すべての人に健康と福祉を」
- 「5 ジェンダー平等を実現しよう」



6 計画の進行管理

計画推進のため各施策が円滑に実施され、基本理念が実現されるよう、P D C A による進行管理を行います。スポーツ推進審議会において、年度ごとに計画の進捗状況を把握し、点検・評価を行い、円滑な推進に努めます。



7 本計画におけるスポーツの定義

本計画において、スポーツとは一定のルールに則った勝敗や記録を競うことを目的とした運動競技（陸上競技、野球等）、余暇時間等における健康・体力の保持増進を目的とした身体活動（ウォーキング、ランニング、体操等）、気晴らし、楽しみ及び交流を目的とした身体活動（散歩、サイクリング、スポーツ・レクリエーション活動等）、仕事や家事の最中の健康・体力の保持増進、美容などを目的に意識的に実施する身体活動（通勤等での一駅歩きや自転車の活用、仕事や買い物等での徒歩による移動や階段昇降等）まで幅広く捉えることとします。

1 現状と課題

スポーツ基本法によると、スポーツとは「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と広く捉えられており、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利」とであるとされています。

少子高齢化や生活様式の変化などにより、スポーツの果たす役割は、体力向上や健康増進だけでなく、地域コミュニティの活性化など、健康で活力に満ちた地域社会を形成する上で、欠かせないものとなっています。

(1) 子どもの体力とスポーツ活動

① 幼児期や児童期における運動遊び

幼児期や児童期においては、興味や生活経験に応じた遊びの中で体を動かす楽しさや心地よさを実感できることが大切であり、幼児や児童が自発的に体を動かして、多様な動きを身につけることができる環境を充実させる必要があります。

また、幼児期、児童期における豊富な運動遊びの経験は、その後の青年期以降への運動やスポーツに親しむ資質や能力の育成等に大きな影響を及ぼしますが、近年子どもが遊びを通して体を動かす機会が減少しています。



【スナッグゴルフ教室】

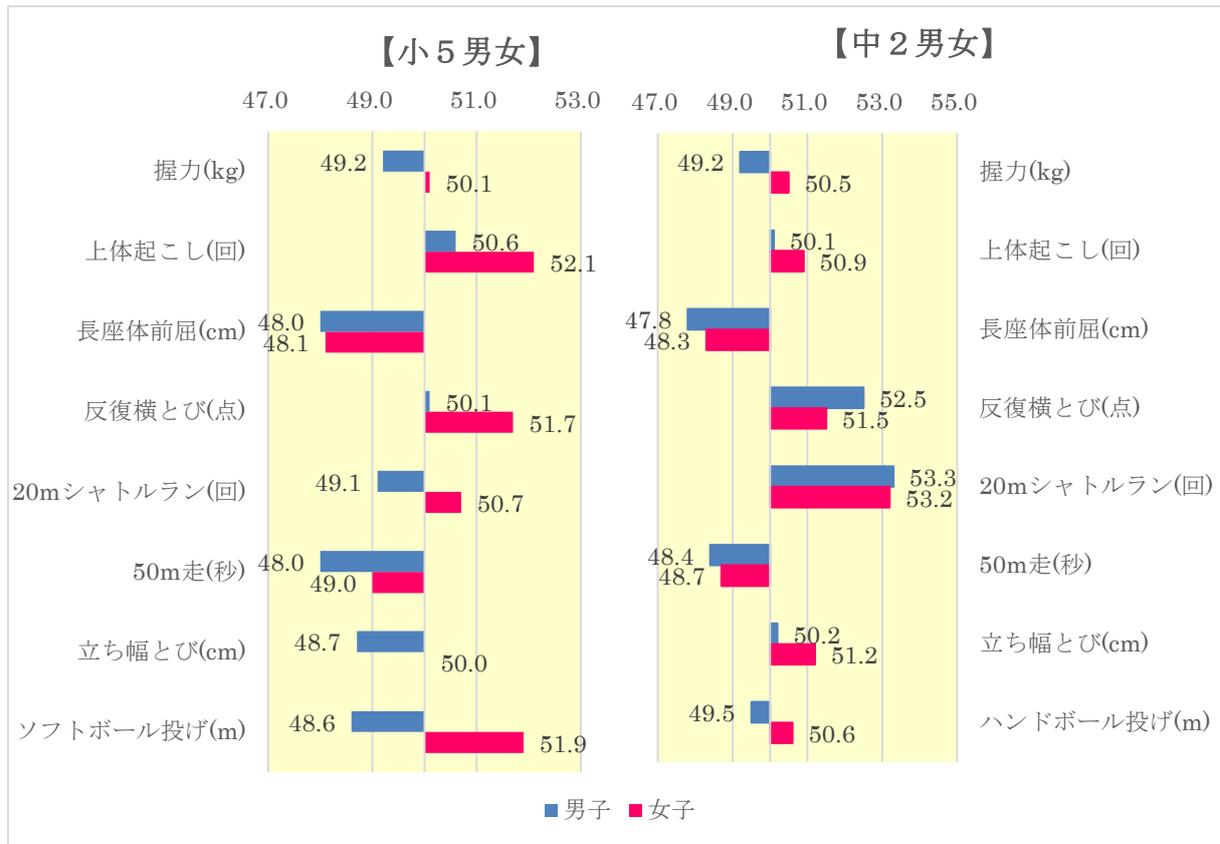
② 児童生徒の体力

スポーツ庁が小学校第5学年と中学校第2学年を対象に実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、本市小中学生においては、女子は小中ともに8種目中6種目が全国平均以上となっていますが、男子は小中ともに半数以上の種目において全国平均を下回っています。また、「長座体前屈（柔軟性）」と「50m走（走力、スピード）」の2種目については、小中学生の男女全てにおいて、全国を下回っています。

自ら進んで運動する習慣を形成し、体力の向上を図る中で、子どもたちに運動機会を提供する場の一つとして「スポーツ少年団」がありますが、鹿沼市スポーツ少年団における単位団数、団員数は年々減少傾向にあり、野球やバレーボール等のチームスポーツにおいては、人数不足によりチームが組めないという問題も出てきています。

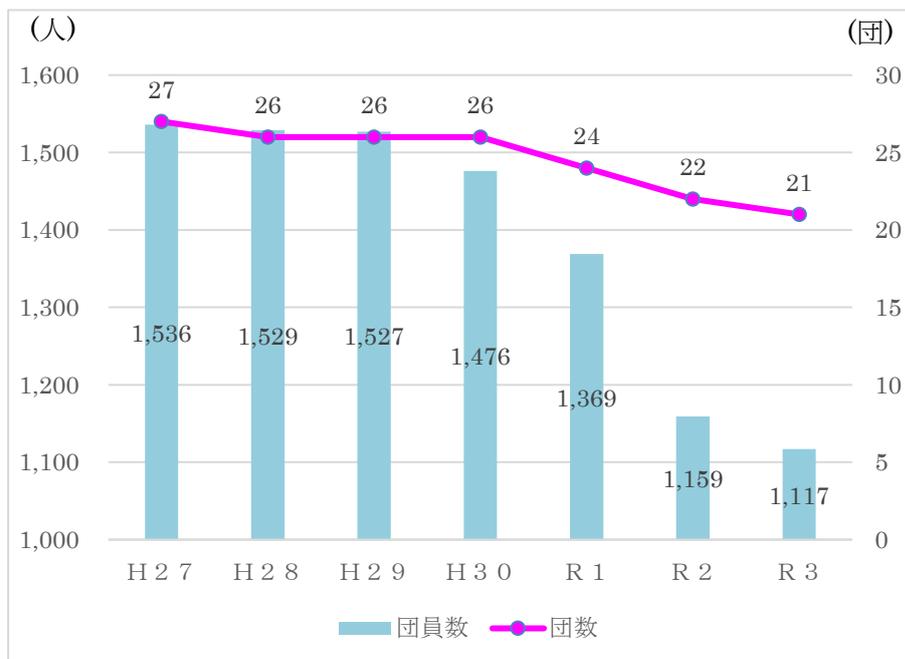
本市児童生徒の新体力テストの状況（各種目Tスコア※）【全国平均との比較】

※Tスコア…全国平均を50とした場合の本市の体力偏差値



出典：「全国体力・運動能力・運動習慣等調査（スポーツ庁）」

鹿沼市スポーツ少年団の団員数と単位団数の推移



鹿沼市教育委員会事務局調べ

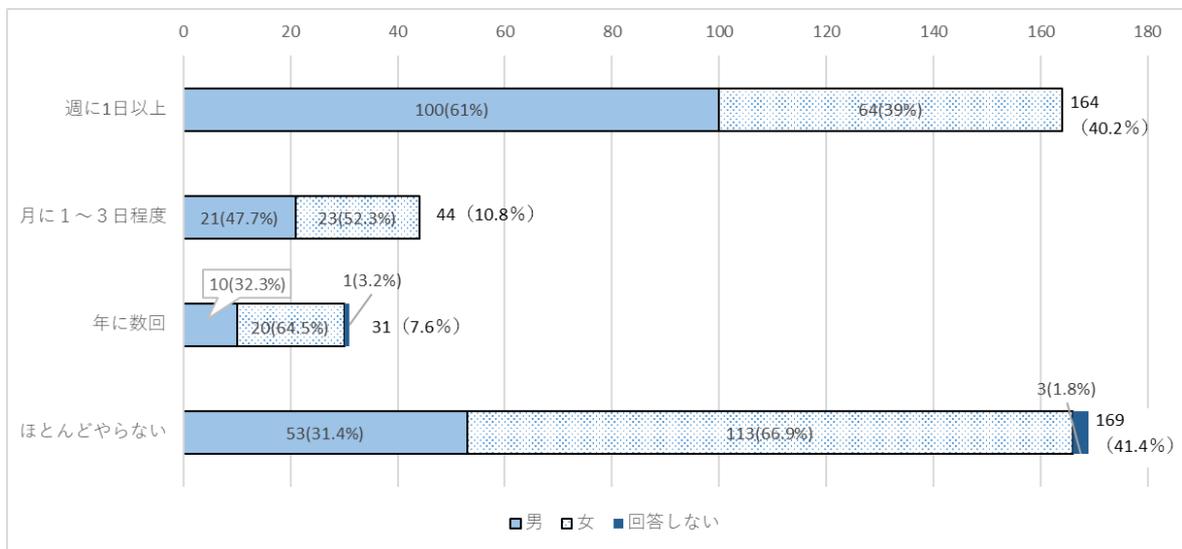
(2) 成人における運動やスポーツ活動

令和3年度に本市が実施した「市民のスポーツに関する意識調査」において、「自分が運動不足であると感じているか」との質問に、「大いに感じる」、「少し感じる」と回答した市民の割合は90%近くを占めています。

また、成人におけるスポーツの実施率（週1日以上）は、40.2%であり、その内訳は男性が61%なのに対し、女性では39%となっており、女性の実施率が低いことがわかります。スポーツを「ほとんどやらない」と回答した人は41.1%となっており、行わない理由として、仕事や家事、育児が忙しく時間が取れないといった意見や、一緒に取り組む仲間がいない、興味がないといった意見もありました。

本市の成人のスポーツ活動実施の割合（男女別）

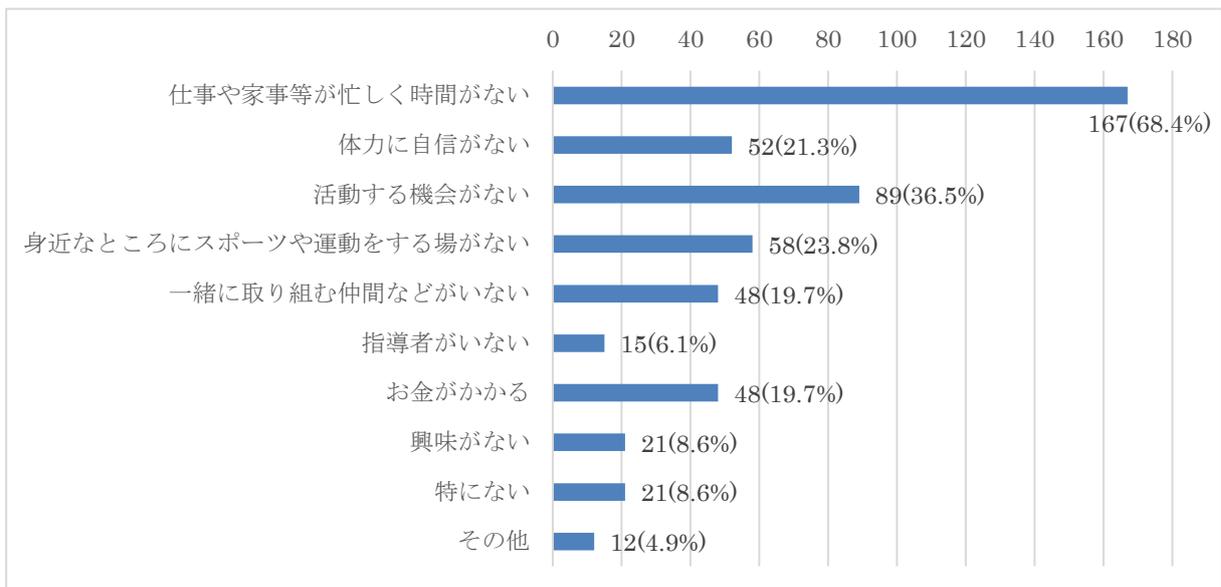
(人：%)



出典：R3「市民のスポーツに関する意識調査」：鹿沼市教育委員会事務局調べ

スポーツや運動を行わない理由

(人：%)



出典：R3「市民のスポーツに関する意識調査」：鹿沼市教育委員会事務局調べ

(3) 高齢化の進展とスポーツ活動の推進

本市における高齢者のスポーツの実施率（週1日以上）は、ウォーキングや地域におけるグラウンドゴルフ、ゲートボール等の普及により、70～79歳では、61.4%と比較的高い傾向にあります。

「健康維持や体力づくり」を目的として活動している人の割合が最も多く、次いで「気分転換、気晴らし、余暇の充実」、「家族や仲間との交流、親睦」となっています。

一方で、地域との交流が少なく、出歩くことも少ない高齢者においては、筋力や身体能力が低下し、いわゆる「フレイル」の状態となる傾向が高まっています。

高齢者が参加しやすいプログラムの充実を図り、本人の適性や年齢に応じて、無理なく継続的にスポーツ活動を行える環境をつくること、生活習慣病の予防・改善や介護予防につながり、健康寿命の延伸を期待させることとなります。

総合型地域スポーツクラブの果たす役割として、高齢者にスポーツ活動の場を提供するとともに、高齢者が運営等に携わることで、社会参加につながっていくことも期待されます。

成人のスポーツ活動実施の割合（年代別）

（上段：人数、下段：％）

	全体	ほとんど毎日	週に3日以上	週に1日以上	1～3日 月に	年に数回	ほとんど やらない
全体	408	31	49	84	44	31	169
	100.0	7.6	12.0	20.6	10.8	7.6	41.4
20～29歳	35	1	7	6	5	5	11
	100.0	2.9	20.0	17.1	14.3	14.3	31.4
30～39歳	71	3	4	10	9	9	36
	100.0	4.2	5.6	14.1	12.7	12.7	50.7
40～49歳	90	6	13	17	9	7	38
	100.0	6.7	14.4	18.9	10.0	7.8	42.2
50～59歳	84	3	7	16	9	4	45
	100.0	3.6	8.3	19.0	10.7	4.8	53.6
60～69歳	84	11	10	23	12	2	26
	100.0	13.1	11.9	27.4	14.3	2.4	31.0
70～79歳	44	7	8	12	0	4	13
	100.0	15.9	18.2	27.3	0.0	9.1	29.5

出典：R3「市民のスポーツに関する意識調査」：鹿沼市教育委員会事務局調べ

スポーツを行う理由（年代別・複数回答）

（上段：人数、下段：％）

	全体	健康維持や体力づくり （リハビリを含む）	美容・ダイエット	家族や仲間との 交流、親睦	（試合への参加も含む） 技術や技能の向上	気分転換、気晴らし、 余暇の充実	その他
全体	321	121	47	34	30	82	7
	100.0	73.8	28.7	20.7	18.3	50.0	4.3
20～29 歳	26	6	8	1	4	6	1
	100.0	42.9	57.1	7.1	28.6	42.9	7.1
30～39 歳	42	12	11	3	5	10	1
	100.0	70.6	64.7	17.6	29.4	58.8	5.9
40～49 歳	73	22	16	8	6	18	3
	100.0	61.1	44.4	22.2	16.7	50.0	8.3
50～59 歳	52	22	7	4	4	14	1
	100.0	84.6	26.9	15.4	15.4	53.8	3.8
60～69 歳	75	39	3	8	7	17	1
	100.0	88.6	6.8	18.2	15.9	38.6	2.3
70～79 歳	53	20	2	10	4	17	0
	100.0	74.1	7.4	37.0	14.8	63.0	0.0

出典：R 3 「市民のスポーツに関する意識調査」：鹿沼市教育委員会事務局調べ

（４）障がい者のスポーツ活動

障がい者のスポーツ活動については、障がいの程度等、それぞれの条件やニーズに応じた支援が必要となることから、指導者や場所の確保等、環境を整える必要があります。

また、市内のスポーツ施設には、建築から相当年数が経過している施設もあり、障がい者のニーズに適合した施設となっていない点もあり、施設の利用を容易にしていけることが必要です。

パラリンピックの開催によって、パラアスリートが、さまざまな障がいを抱えながら競技する姿は、多様な個人を受け入れる社会の実現の1つの契機となりました。

令和4年度には栃木県において、いちご一会とちぎ大会（全国障害者スポーツ大会）が開催され、本市も卓球の会場となっていることから、小中学校への障がい者スポーツの普及啓発や指導者の育成を促進することが必要となります。

(5) ウィズ・コロナ時代のスポーツの在り方

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、多くの感染者が闘病を余儀なくされ、重症化、または不幸にして命を落とすなどの状況が続いています。緊急事態宣言地域やまん延防止等重点措置区域に指定される県が相次ぎ、夜間の外出や飲食の制限など、国内や地域の経済に大きな影響を与えています。

この傾向はスポーツ活動についても同様であり、多くの人が集まってのスポーツイベント等においては中止や延期が発表される一方で、身体的及び精神的な健康を維持していく上では、スポーツ・運動を行うことが大切です。

新型コロナウイルスに効果の高いワクチンの接種や感染防止対策により、明るい兆しも見えていますがこれからの活動は、完全に新型コロナウイルス感染症の無くない中で、活動を再開していかなくてはならず、ウィズ・コロナの時代の事業運営が求められています。

(6) スポーツ施設の現在までの取り組みと今後の課題

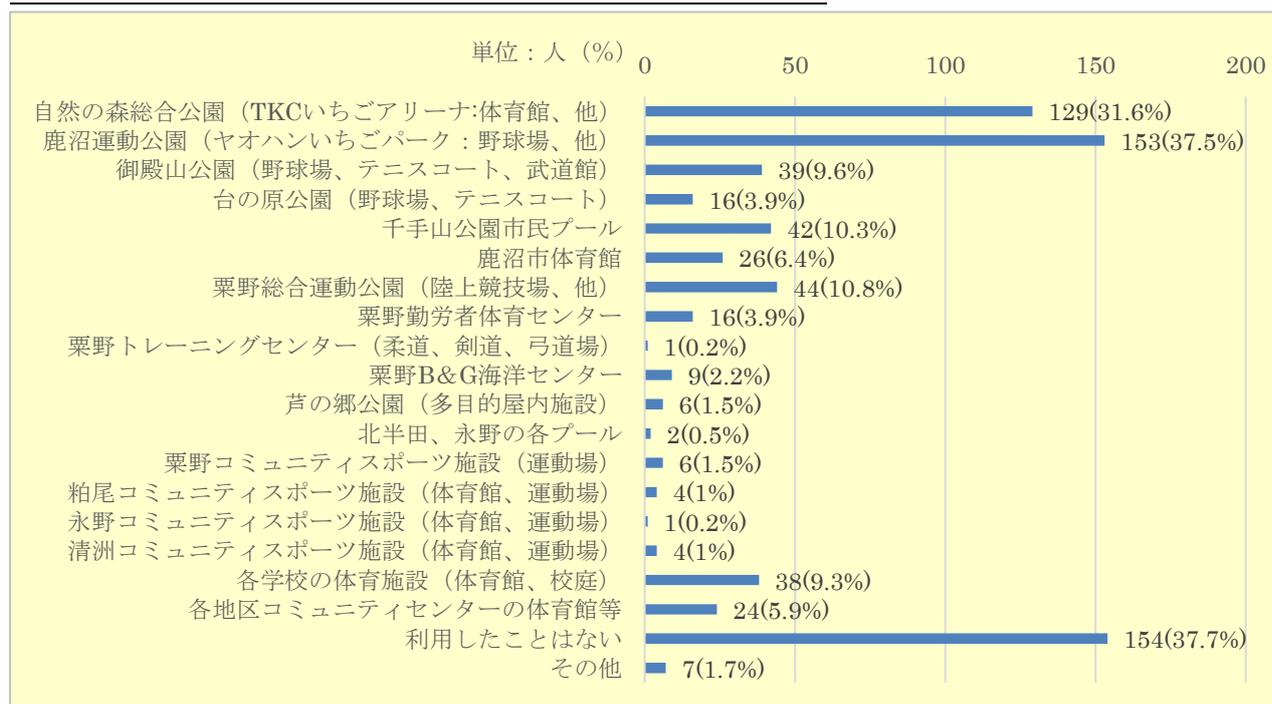
本市のスポーツ施設は、令和4年度に開催される「いちご一会とちぎ国体」、「いちご一会とちぎ大会（全国障害者スポーツ大会）」に向け競技施設の改修を最優先とし、施設の整備・修繕及び統廃合に取り組んできました。

現在、市内23か所ある学校施設以外のスポーツ施設のうち、建設から30年以上が経過し改修による長寿命化が済んでいない施設が50%以上に達し、老朽化した施設の計画的な改修や統廃合も視野に入れ、意識調査の結果を基に適正な管理が求められています。

また、身近なスポーツ施設として、学校の校庭・体育館が普段利用できるよう、児童・生徒の利用時間外に開放する「学校開放事業」を推進しています。

統廃合による学校施設の減少、利用者の高齢化に伴う活動休止や施設の利用休止が課題となっています。

過去（ここ数年）利用したことがあるスポーツ施設（複数回答）



出典：R3「市民のスポーツに関する意識調査」：鹿沼市教育委員会事務局調べ

1 基本理念

(1) 総合計画における位置付け

① 目指すまちの姿

花と緑と清流のまち 笑顔あふれるやさしいまち

本市では、これまでも自然豊かでやさしいまちを目指し、まちづくりを進めてきました。市民と行政の共創により、これまでの取組をさらに前へと進めるため、第8次鹿沼市総合計画では、「花と緑と清流のまち 笑顔あふれるやさしいまち」を目指すまちの姿に掲げることとしました。

② 施策体系

第8次鹿沼総合計画の「政策1 すこやか（子育て・教育）」において、次代の担い手を育むまちづくりを進めるための施策の一つとして、「施策7 スポーツでつくる健康都市の推進」が掲げられています。「第2期鹿沼市スポーツ推進計画」は、それを実現するための個別計画と位置付けられています。

(2) 教育ビジョンにおける位置付け

① 教育ビジョンの基本理念

学びから 未来を拓く ひとづくり

「学校」・「家庭」・「地域」がそれぞれの役割を認識しながら連携を深めて互いに協力し合い、豊かな未来を拓く子どもたちを育てるための教育を推進していきます。

② 施策体系

第2次鹿沼市教育ビジョンの「基本目標4 スポーツでつくる健康都市の推進」を進めるための施策の一つ、「基本施策15 スポーツ参画人口の拡大」の実現のために「第2期鹿沼市スポーツ推進計画」を個別計画として位置づけています。

(3) 鹿沼市スポーツ推進計画の基本理念

市民一人ひとりが、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに関わることで、市民の誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しみ、健康で豊かな生活が送れるまちづくりの実現を目指し、次のとおり基本理念を定めます。

誰もがスポーツに親しみ、健康で生きがいを感じる活力あるまちづくり

2 基本目標

市民の週1日以上スポーツ実施率（世論調査）

36% (令和3年度) → 44% (※1) (令和8年度)

※1 令和7年度、世論調査の結果を反映する。令和8年度は世論調査は行われず。

運動施設の利用者数減少幅の抑制（主要施設(※2)利用率の減少幅を年1.5%以内に抑制）

92% (令和3年度) → 84.5% (令和8年度)

※2 自然の森総合公園、鹿沼運動公園（ヤオハンいちごパーク）、栗野総合運動公園の3か所

3 基本施策

体系図

基本理念	基本施策		
	大項目	中項目	小項目
誰もがスポーツに親しみ、健康で生きがいを感じる活力あるまちづくり	1 市民のスポーツ参画人口の拡大	1 ライフステージに応じたスポーツ活動	(1) 幼児・児童期における運動遊びやスポーツ活動の推進
			(2) 子育て世代、働き盛り世代のスポーツ参加の推進
			(3) 高齢者のスポーツの推進
			(4) 障がい者スポーツの推進
			(5) ウィズ・コロナ時代のスポーツ活動の推進
		2 組織、人材の育成	(1) スポーツに関わる人材(指導者、ボランティア等)の育成、確保
			(2) (総合型を含む)地域スポーツクラブ等の充実、スポーツ関係団体の基盤強化、支援
		3 スポーツを通じた健康づくり	(1) 運動と健康に関する情報の提供
			(2) 日常生活における運動習慣等の定着
	2 スポーツによる交流、活力ある地域づくり	1 交流人口の増加と市民のスポーツ意識の醸成	(1) スポーツイベントの開催による交流人口の増加
(2) 市民のスポーツ意識の醸成			
3 スポーツができる環境の整備、利活用	1 施設の長寿命化、統廃合、学校開放		

第4章 基本施策における取り組み内容

基本施策1 市民のスポーツ参画人口の拡大

プレイヤーだけがスポーツに関わるのではなく、多様な関わり方があることを広め、市民の誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しみ、健康で豊かな生活が送れるよう市民ひとり1スポーツを目標に、各種事業を展開します。

1 ライフステージに応じたスポーツ活動

(1) 幼児・児童期における運動遊びやスポーツ活動の推進

幼児期に自発的に体を動かす遊びを中心とした身体活動を行うことは、基礎的な体力や運動能力を発達させ、様々な活動への意欲や社会性、創造性などの育成につながることから、スポーツの楽しさを感じ、活動を継続できる環境づくりを進めていきます。

【取り組み内容】

- ① (総合型を含む) 地域スポーツクラブやスポーツ少年団等と連携し、地域において子どもがスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組みます。
- ② 幼児期における体を動かす習慣の形成や基礎的な動作を習得できる機会を提供するため、「アクティブ・チャイルド・プログラム」等の運動遊びプログラムの普及に努めます。
- ③ 保育園、幼稚園、認定こども園等と連携し、幼児期・児童期における運動の大切さを伝えます。
- ④ 子どもや親子で参加できるスポーツ体験の場を創出し、体を動かす機会の提供を図ります。



スポーツ少年団「サッカー交流大会」



親子で楽しめる「タグラグビー」

(2) 子育て世代、働き盛り世代のスポーツ参加の推進

子育て世代や働き盛り世代は、子育てや仕事等で時間をとられ、スポーツを習慣化することが難しいことから、自身の健康や家族のふれあい等の様々な角度からスポーツの推進を図ります。

【取り組み内容】

- ① 女性のニーズにあったスポーツイベントやスポーツ教室等の機会の提供を行います。
- ② 子どもと一緒にできるスポーツ活動の推進を図ります。
- ③ ウォーキングやサイクリング等の生活の中で取り入れやすいスポーツの提案を行います。
- ④ 自宅でライフサイクルに合わせた運動ができるようなトレーニングの動画配信等の普及を行います。
- ⑤ 企業等の協力を得て、職場内でスポーツが取り入れられる環境を推進します。

(3) 高齢者のスポーツの推進

高齢者がそれぞれの適性や年齢に応じて無理なく継続的にスポーツ活動を行うことができるよう、取り組みやすいスポーツ・レクリエーション活動の普及を促進します。

また、(総合型を含む)地域スポーツクラブ等、地域においてスポーツ活動ができる場の充実を図ります。

【取り組み内容】

- ① 対象者に応じた運動指導や生活習慣病予防、認知症予防など、より細かな運動プログラムの提供を行います。
- ② (総合型を含む)地域スポーツクラブ等への参加の促進を図ります。
- ③ 身近な地域でスポーツに親しめる環境づくりを支援するため、地域が主体となって取り組むスポーツ広場等の整備に必要な資材等の助成を行います。



ふれあいウォーク



ポールウォーキング教室

(4) 障がい者スポーツの推進

障がい者スポーツを通して、障がいの有無に関わらず、互いに尊重し、理解し、支えあえる共生社会の実現を目指します。

【取り組み内容】

- ① 小中学校への障がい者スポーツの普及啓発を促進します。
- ② 障がい者スポーツの体験、交流を通し、障がいのある方への理解を深めます。
- ③ 福祉所管の部課と連携し、それぞれの状況に配慮した、障がいのある方が参加しやすい活動・プログラムの普及・促進を目指します。



障がい者のためのトレーニング教室

(5) ウィズ・コロナ時代のスポーツ活動の推進

2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大により、本市においても、スポーツ施設の休館、大会の中止等、スポーツを行うことが困難な状況におかれました。

新型コロナウイルス感染症との闘い、対策の長期化が想定される中で、ウィズ・コロナ時代に対応したスポーツ活動を推進します。

【取り組み内容】

- ① 一人ひとりが身体的距離の確保や3密回避等を実践しながら、安全・安心にスポーツを行える運動・スポーツの周知を行います。
- ② 「コロナ太り」やテレワークによる「肩こり・腰痛」、筋肉や骨の衰え等の健康二次被害を防ぐため、動画配信等を活用し、会場に赴かなくても運動のできる環境づくりを行います。



自宅でできるトレーニング動画の配信

2 組織、人材の育成

(1) スポーツに関わる人材（指導者、ボランティア等）の育成、確保

スポーツをささえる人材を育成するため、スポーツ推進委員やスポーツ少年団を対象とした研修会の開催、参加支援等によりスポーツ指導者の育成に努めるとともに、ボランティアの充実を図ります。

【取り組み内容】

- ① スポーツ推進委員が、スポーツ推進の中核的人材としての役割を果たせるよう県の研修や全国の大会等への参加を支援します。
- ② 研修会や講習会の開催により指導者の資質の向上を図ります。
- ③ 国体・障害者スポーツ大会等のボランティア、スポーツボランティアの組織化を図ります。
- ④ スポーツ推進審議会を開催し、スポーツの推進に関する事項について審議し、本市のスポーツ施策や各事業の取り組みの効率化を図ります。



障がい者スポーツについての理解を深めるスポーツ推進委員



スポーツ少年団「ジュニア・リーダースクール」

(2) (総合型を含む) 地域スポーツクラブ等の充実、スポーツ関係団体の基盤強化、支援

市民の誰もが参加でき、地域住民が主体的に運営する（総合型を含む）地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、スポーツ協会、スポーツ少年団等の地域に根差したスポーツ関係団体を支援し、基盤強化を図ります。

【取り組み内容】

- ① 地域スポーツクラブが開催する教室等のプログラム作成や指導者の派遣を支援します。
- ② かぬま地域スポーツクラブ連絡協議会での情報交換会、交流会を実施し、地域におけるスポーツ活動の活性化を図ります。
- ③ スポーツ振興関係団体の運営を支援し、スポーツをする機会の提供とスポーツを通じた青少年の健全育成、市民の健康・体力づくりの推進、競技力の向上を図ります。



総合型地域スポーツクラブ（北押原地区）



地域スポーツクラブ（東大芦地区）

3 スポーツを通じた健康づくり

(1) 運動と健康に関する情報の提供

スポーツの継続を促し、心身の健康維持・増進に寄与するとともに、仲間づくりや社会参画のきっかけをつくり、健康で豊かな生活が送れるよう情報の提供を行います。

【取り組み内容】

- ① 広報・ホームページ等の活用により、健康・スポーツ情報を発信します。
- ② スポーツカウンセリングの充実を図り、対象者に応じた運動プログラムの提供を行えるサポート体制を整えます。

(2) 日常生活における運動習慣等の定着

生活習慣病予防や健康の維持・増進のため、スポーツ機会の充実を図ります。

【取り組み内容】

- ① 通勤時間や休憩時間等に気軽にスポーツに取り組めるような環境づくりを推進します。
- ② （公財）かぬま文化・スポーツ振興財団と連携協力し、良質なプログラム・指導者の提供を行います。
- ③ チャレンジ15「健康マイレージ」における健康ポイント付与の対象となるスポーツ事業を拡充し、スポーツの実施につなげていきます。

基本施策2 スポーツによる交流、活力ある地域づくり

スポーツは感動を与えるだけでなく、地域社会への社会的効果、経済効果を創出し、持続的なまちづくりや地域の活性化に資する可能性を秘めています。

イベントの開催や友好都市との交流等、スポーツと地域資源を掛け合わせたまちづくり、地域活性化を進めていくとともに、イベントの開催、交流を通じて市民のスポーツ意識の醸成を図ります。

1 交流人口の増加と市民のスポーツ意識の醸成

(1) スポーツイベントの開催による交流人口の増加

本市の地域資源を活かし、スポーツを通じた交流人口の増加を図るとともに、スポーツの持つ力を最大限に活かし、地域の活性化を図ります。

【取り組み内容】

- ① 鹿沼さつきマラソン大会の開催により、スポーツツーリズムを通じた地域活性化を図ります。
- ② 各種スポーツ大会等を通して、親交のある都市（足立区、墨田区、台東区、春日部市等）との交流を図ります。
- ③ 小・中学生を対象とした、平野早矢香杯卓球大会、ジュニアゴルフ大会などを開催し、参加者間の交流を促進します。



鹿沼さつきマラソン大会



平野早矢香杯卓球大会

(2) 市民のスポーツ意識の醸成

各種大会、イベントの開催やプロスポーツチームとの交流を通じ、スポーツへの興味・関心を高め、スポーツを始めたり、ステップアップする等のきっかけづくりを行います。

【取り組み内容】

- ① 鹿沼さつきマラソン大会、体力づくり事業、駅伝競走大会、ふれあいウォーク、ドッジボール大会等のスポーツイベントを開催し、「する」機会の提供を行います。
- ② イベントや研修会、ボランティア情報等のスポーツに関する情報を提供します。
- ③ プロスポーツチームやトップレベルの試合招致により、スポーツを間近で観て、スポーツの魅力を発見し、スポーツに興味をもつきっかけづくりとなる観戦機会の提供を行います。



宇都宮ブレックスの試合開催



宇都宮ブリッツェンによる「補助輪はずし教室」

基本施策3 スポーツができる環境の整備、利活用

1 施設の長寿命化、統廃合、学校開放



鹿沼総合体育館「TKC いちごアリーナ」



ヤオハンいちごパーク（陸上競技場）

スポーツ環境の整備については、スポーツ基本法で掲げられている「多様なスポーツ機会の確保のための環境の整備」を踏まえ、鹿沼市総合計画の基本施策「スポーツでつくる健康都市の推進」の実現に向けた取組方針を定めています。

取組方針の「スポーツ環境の整備と利活用の促進」においては、老朽化した既存施設を単純更新（解体し建替える）ではなく、長寿命化などの大規模改修を行うことで、その施設の「機能を維持」できるよう、計画的な改修等を進め利活用の促進を図るとともに、効率的・効果的なスポーツ施設の在り方を検討し、「複合化」「統合化」を推進します。

一方、都市公園のスポーツ施設は、全て施設の管理運営面において指定管理者と連携し、市民サービスの向上と経費の節減を図っています。

指定管理者における「効果的な事業展開」「集客・収入の増加」などの努力とともに、統廃合により閉鎖したスポーツ施設への民間活用の導入も重要です。

また、市民の身近な施設である学校施設をスポーツの場として有効活用を図るため、学校開放事業を推進し、スポーツの人口の拡大と地域コミュニティの強化を推進しています。



ヤオハンいちごパーク（テニスコート）



ヤオハンいちごパーク（野球場）

【資料編】

市民のスポーツに関する意識調査結果報告書

第1章 調査概要

1. 調査目的

「鹿沼市スポーツ推進計画（仮称）」を策定するにあたり、スポーツに関する世代ごとのニーズを把握し、生涯スポーツの実現やスポーツを通じての健康づくりなど、計画策定の参考とするため、本調査を実施した。

2. 調査対象

（1）調査対象

- ・市内在住の満20歳以上80歳未満の方2,000人（無作為抽出）
- ・身体、療育、精神の各障がい者手帳を所持する方 60名

（2）抽出方法

調査対象者にアンケートフォームを送付

3. 調査方法

LOGO フォーム（トラストバンク社）を利用した Web 調査

4. 調査期間

令和3年6月18日～7月9日

5. 回答数・回答率

回答数 408人 回答率 20%

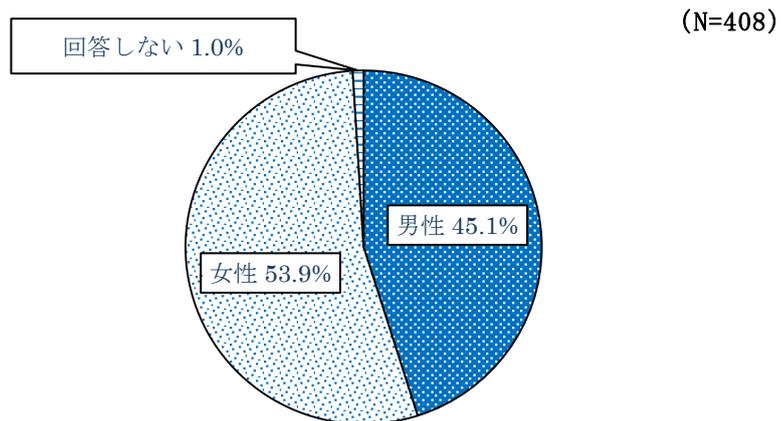
6. 注意事項

- （1）図表中の「N」（Number of cases の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数となる。
- （2）図表中の構成比は、小数点第1位以下を四捨五入している。
- （3）集計表の上段の数字は回答数、下段の数字は構成比（%）を示している。
- （4）回答が2つ以上ありうる場合（複数回答）は、合計が100%を超えることがある。

第2章 調査結果

Q1 あなたの性別を教えてください。【1つ選択】

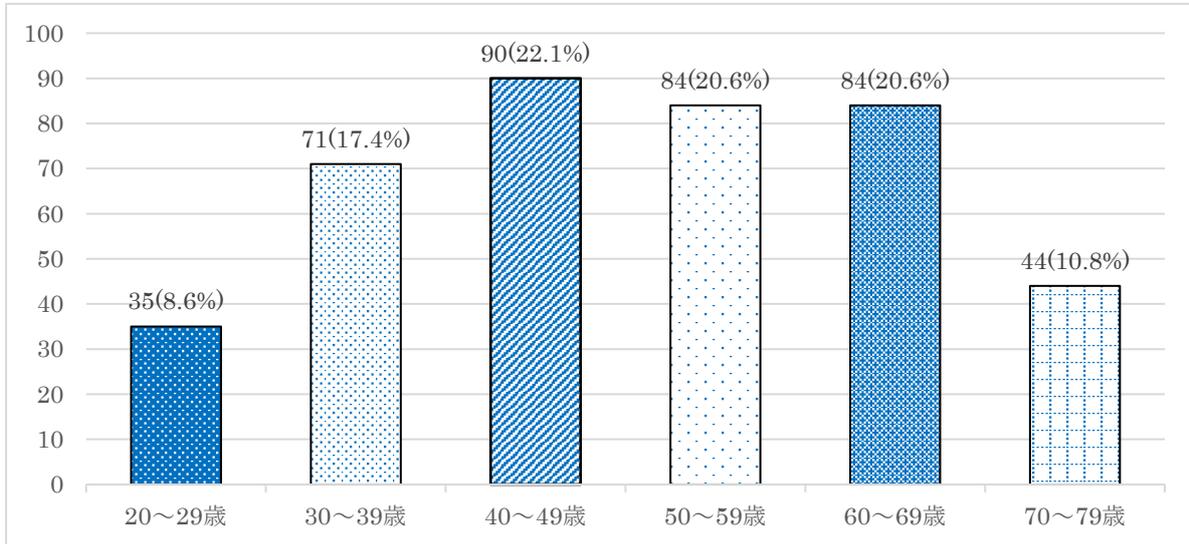
「男性」が45.1%、「女性」が53.9%、「回答しない」が1%となっている。



	全体	男	女	回答しない
全体	408	184	220	4
	100.0	45.1	53.9	1.0
20～29歳	35	14	20	1
	100.0	40.0	57.1	2.9
30～39歳	71	20	50	1
	100.0	28.2	70.4	1.4
40～49歳	90	41	47	2
	100.0	45.6	52.2	2.2
50～59歳	84	39	45	0
	100.0	46.4	53.6	0.0
60～69歳	84	46	38	0
	100.0	54.8	45.2	0.0
70～79歳	44	24	20	0
	100.0	54.5	45.5	0.0

Q2 あなたの年齢は満何歳ですか。【1つ選択】

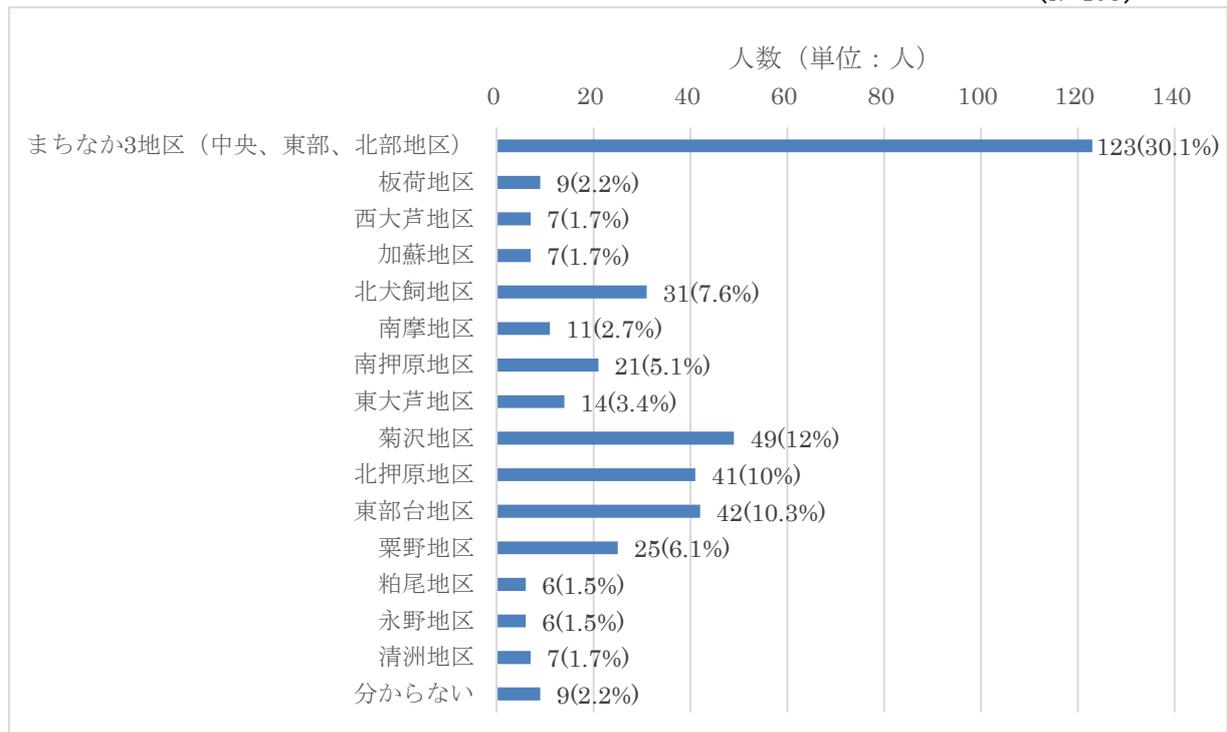
「40～49歳」が22.1%と最も高く、次いで「50～59歳」と「60～69歳」が20.6%、「30～39歳」が17.4%となっている。 (N=408)



Q3 あなたのお住まいの地区は次のうちどちらですか【1つ選択】

「まちなか3地区（中央・東部・北部）」が30.1%と最も高く、次いで「菊沢地区」が12%、「東部台地区」が10.3%、「北押原地区」が10%となっている。

(N=408)

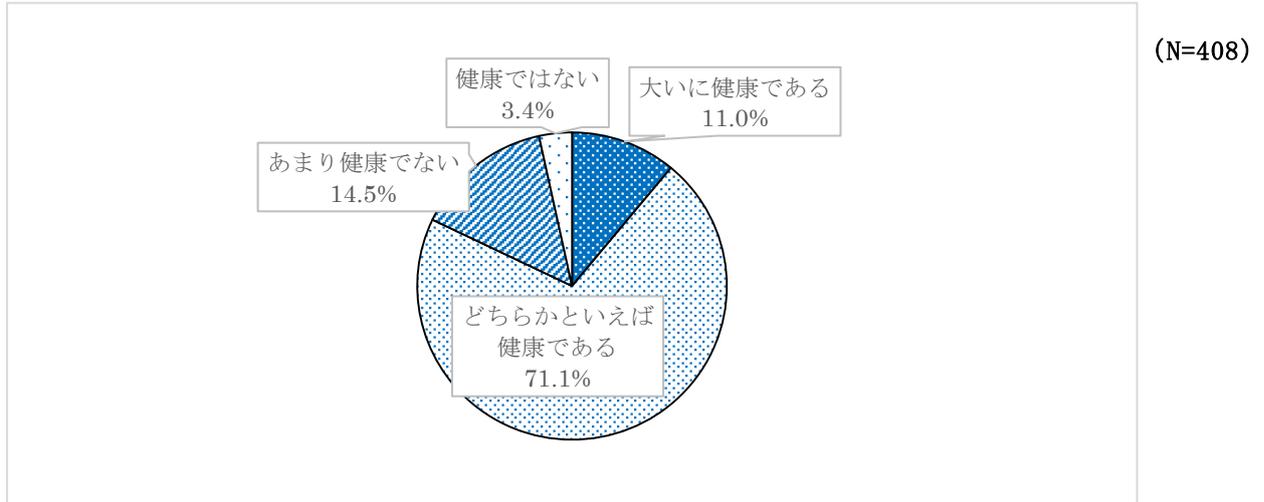


	全体	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳
全体	408	35	71	90	84	84	44
	100.0	8.6	17.4	22.1	20.6	20.6	10.8
まちなか(中央、東部、北部)	123	9	22	28	23	30	11
	100.0	7.3	17.9	22.8	18.7	24.4	8.9
板荷地区	9	2	1	4	1	1	0
	100.0	22.2	11.1	44.4	11.1	11.1	0.0
西大芦地区	7	1	0	2	0	1	3
	100.0	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	42.9
加蘇地区	7	3	1	0	0	1	2
	100.0	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6
北犬飼地区	31	1	5	7	5	5	8
	100.0	3.2	16.1	22.6	16.1	16.1	25.8
南摩地区	11	3	0	1	3	4	0
	100.0	27.3	0.0	9.1	27.3	36.4	0.0
南押原地区	21	3	5	1	6	2	4
	100.0	14.3	23.8	4.8	28.6	9.5	19.0
東大芦地区	14	0	0	3	3	4	4
	100.0	0.0	0.0	21.4	21.4	28.6	28.6
菊沢地区	49	6	3	12	17	8	3
	100.0	12.2	6.1	24.5	34.7	16.3	6.1
北押原地区	41	2	12	9	6	9	3
	100.0	4.9	29.3	22.0	14.6	22.0	7.3
東部台地区	42	2	10	11	9	8	2
	100.0	4.8	23.8	26.2	21.4	19.0	4.8
粟野地区	25	0	6	6	7	4	2
	100.0	0.0	24.0	24.0	28.0	16.0	8.0
粕尾地区	6	0	0	2	0	3	1
	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	50.0	16.7
永野地区	6	0	1	0	2	2	1
	100.0	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7
清洲地区	7	0	0	4	1	2	0
	100.0	0.0	0.0	57.1	14.3	28.6	0.0
分からない	9	3	5	0	1	0	0
	100.0	33.3	55.6	0.0	11.1	0.0	0.0

Q4 あなたは、ご自身の健康について、どのように感じていますか。【1つ選択】

「どちらかといえば健康である」が71.1%と最も高く、次いで「あまり健康でない」が14.5%、「大いに健康である」が11%となっている。

30代から60代は、「あまり健康ではない」の割合が高く、20代、70代では「大いに健康である」の割合が高くなっている。



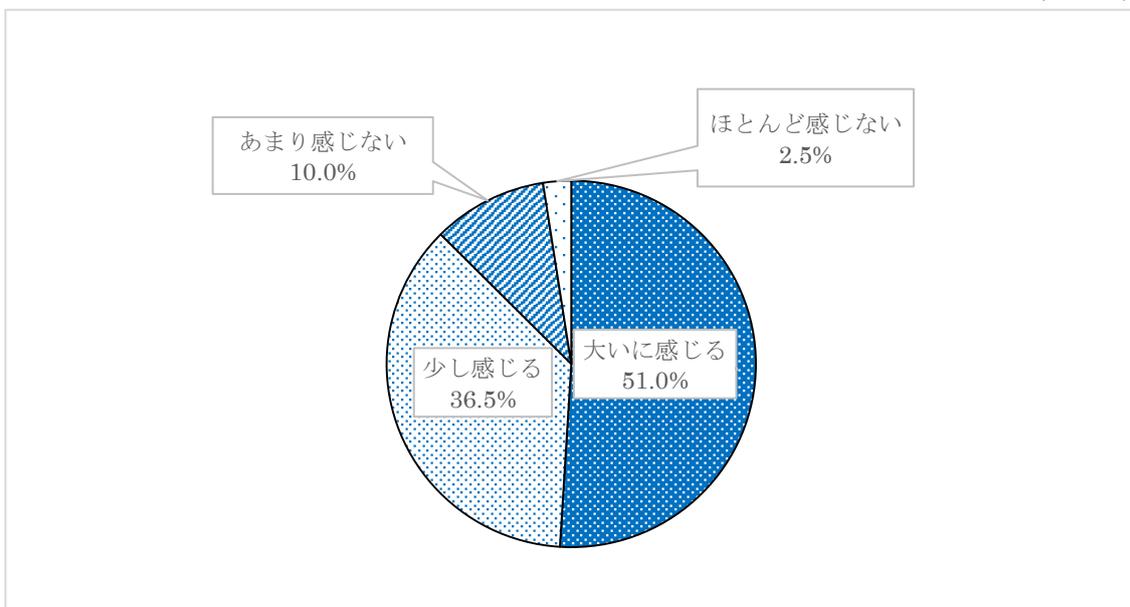
	全体	大いに健康である	どちらかといえば健康である	あまり健康でない	健康ではない
全体	408	45	290	59	14
	100.0	11.0	71.1	14.5	3.4
20～29歳	35	8	24	3	0
	100.0	22.9	68.6	8.6	0.0
30～39歳	71	10	46	13	2
	100.0	14.1	64.8	18.3	2.8
40～49歳	90	10	60	16	4
	100.0	11.1	66.7	17.8	4.4
50～59歳	84	7	57	17	3
	100.0	8.3	67.9	20.2	3.6
60～69歳	84	3	71	7	3
	100.0	3.6	84.5	8.3	3.6
70～79歳	44	7	32	3	2
	100.0	15.9	72.7	6.8	4.5

Q5 あなたは、ご自分が運動不足であると感じていますか。【1つ選択】

「大いに感じる」が51%と最も高く、次いで「少し感じる」が36.5%、「あまり感じない」が10%となっている。

20代から50代は「大いに感じる」の割合が最も高く、60代、70代は「少し感じる」の割合が高い。

(N=408)

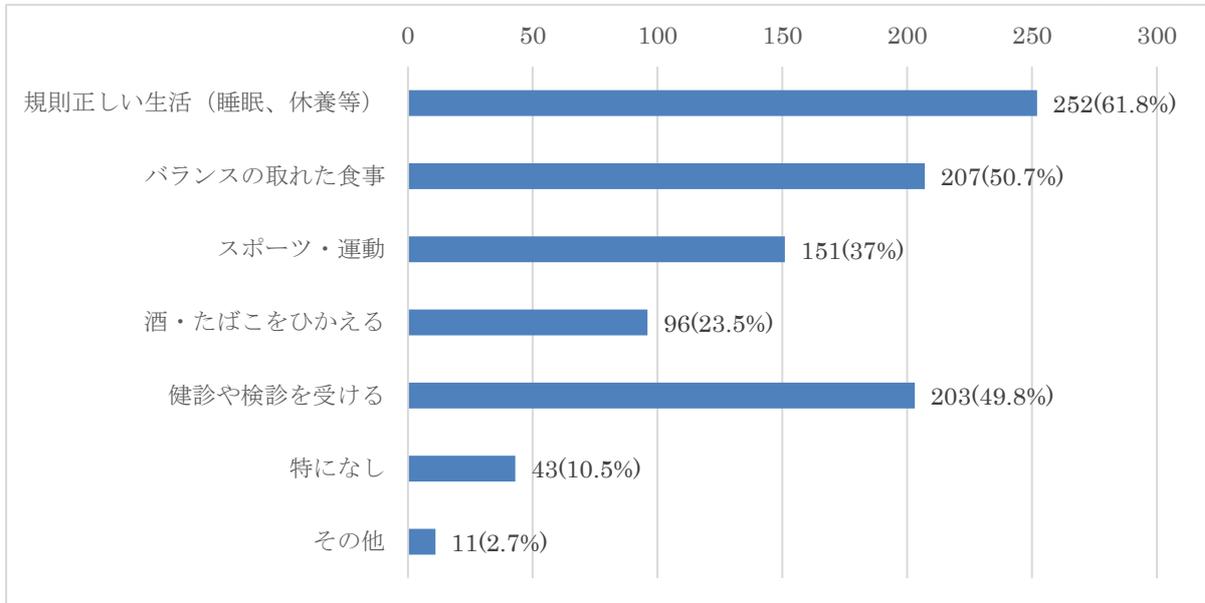


	全体	大いに感じる	少し感じる	あまり感じない	ほとんど感じない
全体	408	208	149	41	10
	100.0	51.0	36.5	10.0	2.5
20～29歳	35	18	10	6	1
	100.0	51.4	28.6	17.1	2.9
30～39歳	71	48	18	3	2
	100.0	67.6	25.4	4.2	2.8
40～49歳	90	54	30	5	1
	100.0	60.0	33.3	5.6	1.1
50～59歳	84	45	29	8	2
	100.0	53.6	34.5	9.5	2.4
60～69歳	84	33	45	5	1
	100.0	39.3	53.6	6.0	1.2
70～79歳	44	10	17	14	3
	100.0	22.7	38.6	31.8	6.8

**Q6 あなたが、ご自身の健康や体力の維持、増進のために心掛けていることは何ですか。
【複数選択可】**

「規則正しい生活（睡眠、休養等）」が61.8%と最も高く、次いで「バランスの取れた食事」が50.7%「健診や検診を受ける」が49.8%となっている。

(N=408)



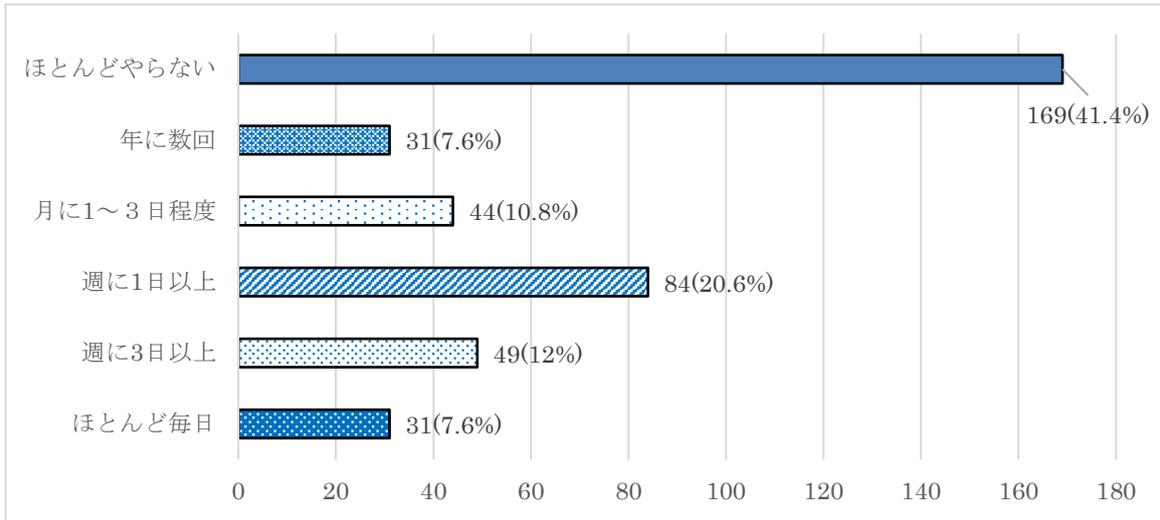
	全体	規則正しい生活（睡眠、休養等）	バランスの取れた食事	スポーツ・運動	酒・たばこをひかえる	健診や検診を受ける	特になし	その他	
全体	963	252	207	151	96	203	43	11	【N=408】
	100.0	61.8	50.7	37.0	23.5	49.8	10.5	2.7	
20～29歳	67	17	16	9	8	10	7	0	【N=35】
	100.0	48.6	45.7	25.7	22.9	28.6	20.0	0.0	
30～39歳	151	36	29	22	16	36	10	2	【N=71】
	100.0	50.7	40.8	31.0	22.5	50.7	14.1	2.8	
40～49歳	199	52	39	30	23	43	10	2	【N=90】
	100.0	57.8	43.3	33.3	25.6	47.8	11.1	2.2	
50～59歳	196	54	43	28	15	40	11	5	【N=84】
	100.0	64.3	51.2	33.3	17.9	47.6	13.1	6.0	
60～69歳	225	61	49	39	23	48	4	1	【N=84】
	100.0	72.6	58.3	46.4	27.4	57.1	4.8	1.2	
70～79歳	125	32	31	23	11	26	1	1	【N=44】
	100.0	72.7	70.5	52.3	25.0	59.1	2.3	2.3	

Q7 あなたは、定期的にスポーツや運動を行っていますか。【1つ選択】

「ほとんどやらない」が41.4%と最も高い。

「週に1日以上（ほとんど毎日、週に3日以上を含む）」スポーツや運動を行っている割合は40.2%となっている。

30代、40代、50代は「ほとんどやらない」と回答した割合が高い。 (N=408)



	全体	ほとんど毎日	週に3日以上	週に1日以上	月に1〜3日以上	年に数回	ほとんどやらない
全体	408	31	49	84	44	31	169
	100.0	7.6	12.0	20.6	10.8	7.6	41.4
20〜29歳	35	1	7	6	5	5	11
	100.0	2.9	20.0	17.1	14.3	14.3	31.4
30〜39歳	71	3	4	10	9	9	36
	100.0	4.2	5.6	14.1	12.7	12.7	50.7
40〜49歳	90	6	13	17	9	7	38
	100.0	6.7	14.4	18.9	10.0	7.8	42.2
50〜59歳	84	3	7	16	9	4	45
	100.0	3.6	8.3	19.0	10.7	4.8	53.6
60〜69歳	84	11	10	23	12	2	26
	100.0	13.1	11.9	27.4	14.3	2.4	31.0
70〜79歳	44	7	8	12	0	4	13
	100.0	15.9	18.2	27.3	0.0	9.1	29.5

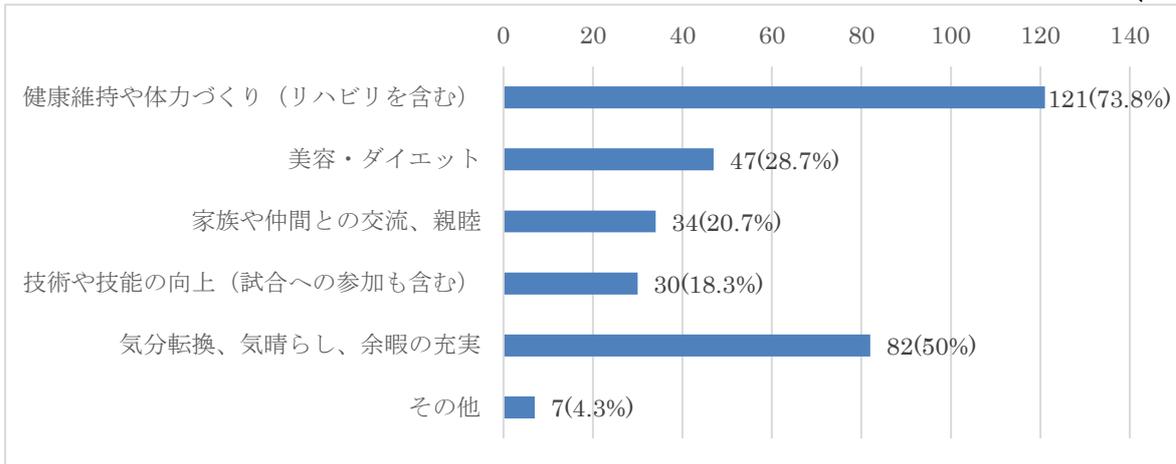
Q8 Q7で「ほとんど毎日」、「週に3日以上」、「週に1日以上」と答えた方にお伺いします。スポーツや運動を行う理由はなんですか。【複数選択可】

「健康維持や体力づくり（リハビリを含む）」が73.8%と最も高く、次いで「気分転換、気晴らし、余暇の充実」が50%、「美容・ダイエット」が28.7%となっている。

30代から70代まで、「健康維持や体力づくり」と回答した割合が非常に高い。

20代、30代は、「美容・ダイエット」と回答した割合が50%を超えている。

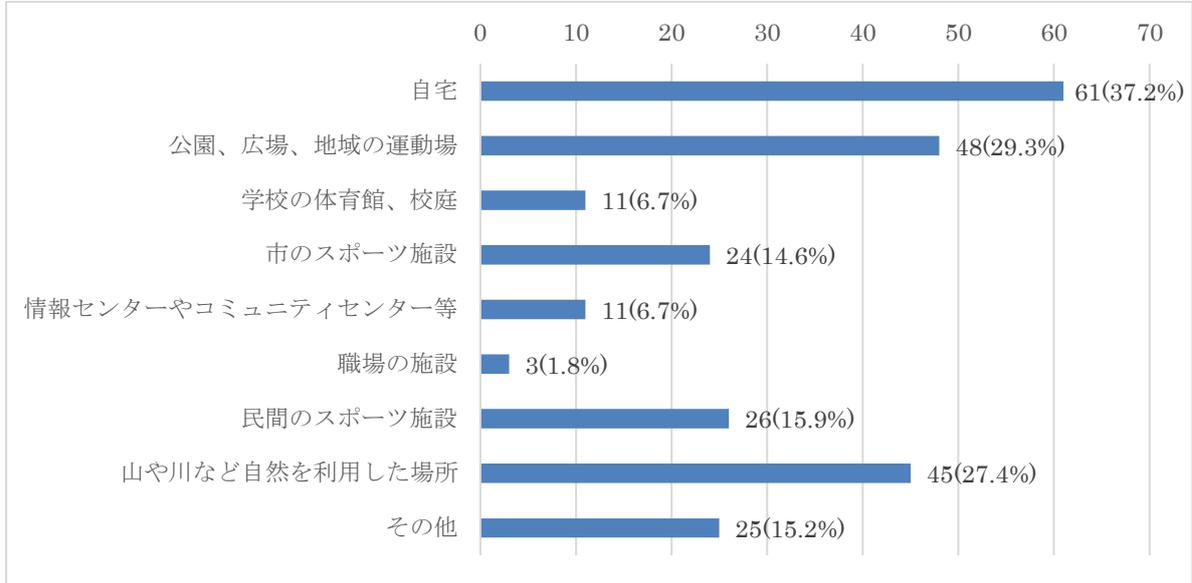
(N=164)



	全体	健康維持や体力づくり（リハビリを含む）	美容・ダイエット	親睦や仲間との交流、	技術や技能の向上（試合への参加も含む）	気分転換、気晴らし、余暇の充実	その他	
全体	321	121	47	34	30	82	7	【N=164】
	100.0	73.8	28.7	20.7	18.3	50.0	4.3	
20～29歳	26	6	8	1	4	6	1	【N=14】
	100.0	42.9	57.1	7.1	28.6	42.9	7.1	
30～39歳	42	12	11	3	5	10	1	【N=17】
	100.0	70.6	64.7	17.6	29.4	58.8	5.9	
40～49歳	73	22	16	8	6	18	3	【N=36】
	100.0	61.1	44.4	22.2	16.7	50.0	8.3	
50～59歳	52	22	7	4	4	14	1	【N=26】
	100.0	84.6	26.9	15.4	15.4	53.8	3.8	
60～69歳	75	39	3	8	7	17	1	【N=44】
	100.0	88.6	6.8	18.2	15.9	38.6	2.3	
70～79歳	53	20	2	10	4	17	0	【N=27】
	100.0	74.1	7.4	37.0	14.8	63.0	0.0	

Q9 Q7で「ほとんど毎日」、「週に3日以上」、「週に1日以上」と答えた方にお伺いします。
主にどのような場所で、スポーツや運動を行いますか。【複数選択可】

「自宅」が37.2%と最も高く、次いで「公園、広場、地域の運動場」が29.3%、「山や川など自然を利用した場所」が27.4%となっている。(N=164)

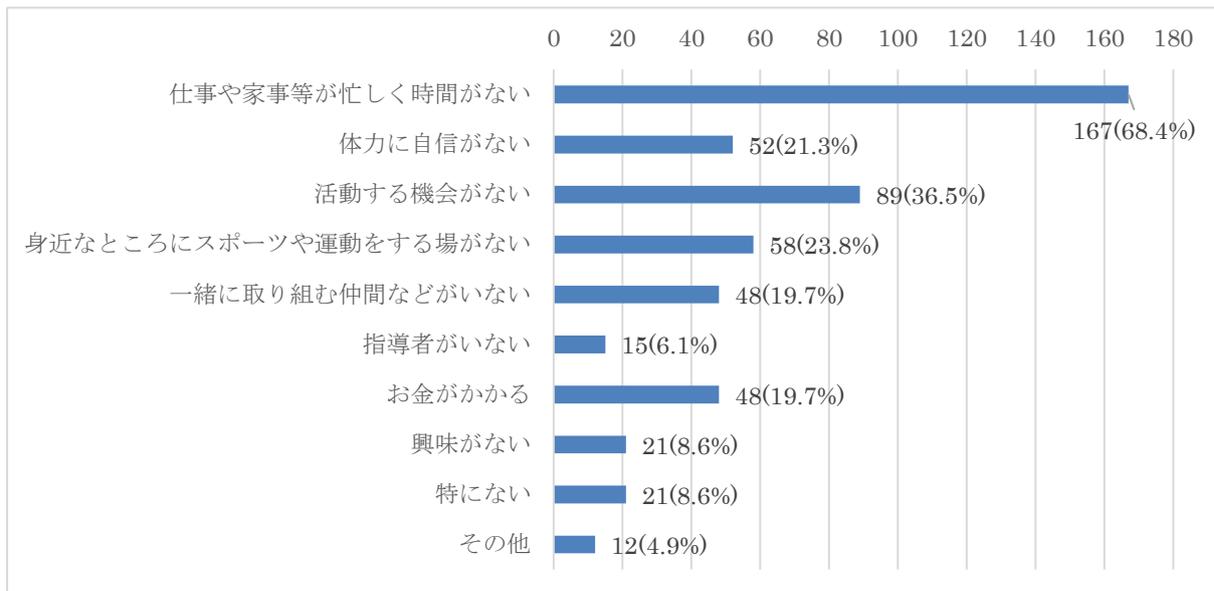


	全体	自宅	公園、広場、地域の運動場	学校の体育館、校庭	市のスポーツ施設	情報センターやコミュニティセンター等	職場の施設	民間のスポーツ施設	山や川など自然を利用した場所	その他	
全体	254	61	48	11	24	11	3	26	45	25	【N=164】
	100.0	37.2	29.3	6.7	14.6	6.7	1.8	15.9	27.4	15.2	
20～29歳	18	6	1	1	2	0	0	3	3	2	【N=14】
	100.0	42.9	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	21.4	21.4	14.3	
30～39歳	29	10	7	2	1	0	0	1	5	3	【N=17】
	100.0	58.8	41.2	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9	29.4	17.6	
40～49歳	59	13	6	6	9	2	2	8	7	6	【N=36】
	100.0	36.1	16.7	16.7	25.0	5.6	5.6	22.2	19.4	16.7	
50～59歳	40	12	8	0	3	0	0	4	8	5	【N=26】
	100.0	46.2	30.8	0.0	11.5	0.0	0.0	15.4	30.8	19.2	
60～69歳	64	13	16	2	3	5	1	4	15	5	【N=44】
	100.0	29.5	36.4	4.5	6.8	11.4	2.3	9.1	34.1	11.4	
70～79歳	44	7	10	0	6	4	0	6	7	4	【N=27】
	100.0	25.9	37.0	0.0	22.2	14.8	0.0	22.2	25.9	14.8	

Q10 Q7で「月に1～3日程度」、「年に数回」、「ほとんどやらない」と答えた方にお伺いします。
あなたが、スポーツや運動を行わない理由は何ですか。【複数選択可】

「仕事や家事等が忙しく時間がない」が68.4%と最も高く、次いで「活動する機会がない」が36.5%、「身近なところにスポーツや運動をする場がない」が23.8%となっている。20代から50代までは、「仕事や家事等が忙しく時間がない」と答えた割合が70%を超えており、20代は、「一緒に取り組む仲間などがいない」と回答した割合が、他の年代よりも高い。

(N=244)

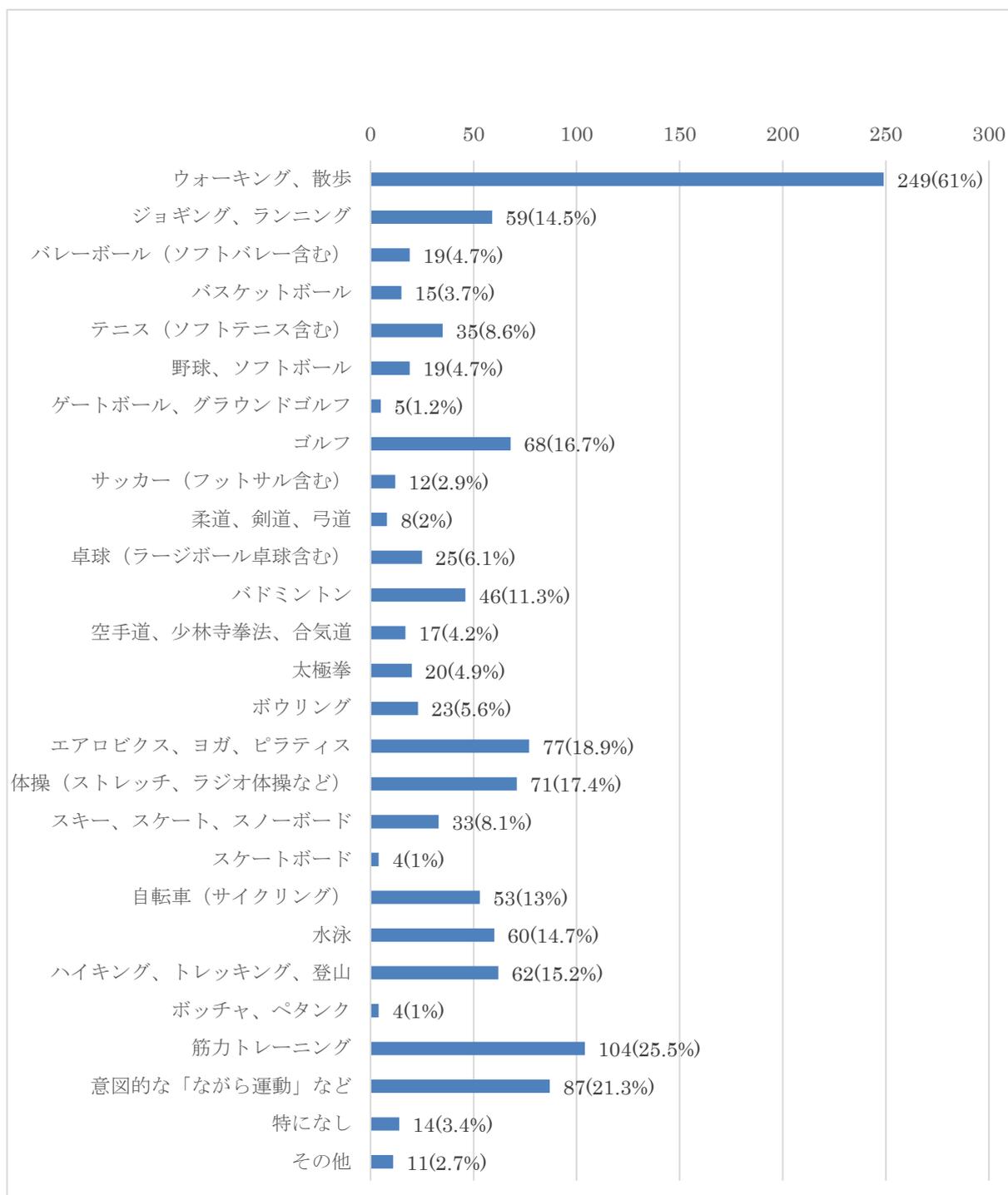


	全体	仕事や家事が忙しく時間がない	体力に自信がない	活動する機会がない	身近なところにスポーツや運動をする場がない	一緒に取り組む仲間がいない	指導者がいない	お金がかかる	興味がない	特にない	その他	
全体	531	167	52	89	58	48	15	48	21	21	12	【N=244】
	100.0	68.4	21.3	36.5	23.8	19.7	6.1	19.7	8.6	8.6	4.9	
20～29歳	60	17	7	10	5	9	1	5	6	0	0	【N=21】
	100.0	81.0	33.3	47.6	23.8	42.9	4.8	23.8	28.6	0.0	0.0	
30～39歳	119	42	12	16	10	9	5	15	4	2	4	【N=54】
	100.0	77.8	22.2	29.6	18.5	16.7	9.3	27.8	7.4	3.7	7.4	
40～49歳	113	39	13	21	12	6	2	12	2	3	3	【N=54】
	100.0	72.2	24.1	38.9	22.2	11.1	3.7	22.2	3.7	5.6	5.6	
50～59歳	137	42	13	22	17	12	5	12	5	6	3	【N=58】
	100.0	72.4	22.4	37.9	29.3	20.7	8.6	20.7	8.6	10.3	5.2	
60～69歳	72	18	5	13	10	8	2	3	3	8	2	【N=40】
	100.0	45.0	12.5	32.5	25.0	20.0	5.0	7.5	7.5	20.0	5.0	
70～79歳	30	9	2	7	4	4	0	1	1	2	0	【N=17】
	100.0	52.9	11.8	41.2	23.5	23.5	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	

Q11 これからやってみたい、または今後も続けたいスポーツや運動は何ですか。【複数選択可】

「ウォーキング、散歩」が61%と最も高く、次いで「筋力トレーニング」が25.5%、「意図的な“ながら運動”」が21.3%となっている。

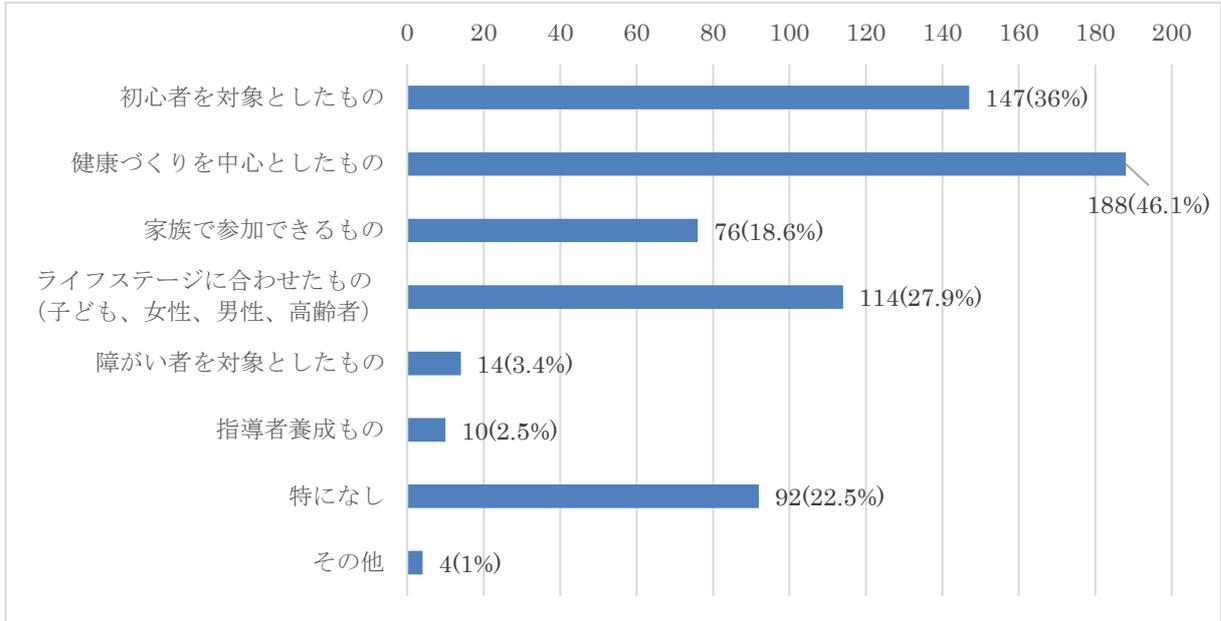
(N=408)



	全体	ウオーキング、散歩	ジョギング、ランニング	バレエ、ポルカ、ダンス（ソフト）	バスケットボール	合気道（ソフトテニス）	野球、ソフトボール	インドゴルフ、グラウンドゴルフ	ゴルフ	合気道（フットサル）	柔道、剣道、弓道	卓球（卓球）	バドミントン	合気道、少林寺拳法、空手道	太極拳	ボウリング	ピエロ、アクロバット、マジック、サーカス、ヨガ、	ジumba、エアロビクス、ダンス、エクササイズ、	スキー、ボード、スケート、スノーボード	自転車、サイクリング	水泳	ハンティング、登山、トレッキング	ポッチャ、ペタンク	筋力トレーニング	動画的なながら運動	特になし	その他		
	1200	249	59	19	15	35	19	5	68	12	8	25	46	17	20	23	77	71	33	4	53	60	62	4	104	87	14	11	[N=408]
	100.0	61.0	14.5	4.7	3.7	8.6	4.7	1.2	16.7	2.9	2.0	6.1	11.3	4.2	4.9	5.6	18.9	17.4	8.1	1.0	13.0	14.7	15.2	1.0	25.5	21.3	3.4	2.7	
	100	19	8	4	3	5	0	0	5	2	1	3	6	2	1	0	4	4	4	1	4	6	1	0	10	7	0	0	[N=35]
	100.0	54.3	22.9	11.4	8.6	14.3	0.0	0.0	14.3	5.7	2.9	8.6	17.1	5.7	2.9	0.0	11.4	11.4	11.4	2.9	11.4	17.1	2.9	0.0	28.6	20.0	0.0	0.0	
	257	37	10	7	8	13	5	0	10	2	0	7	19	4	0	7	21	10	10	1	11	15	13	1	22	20	1	3	[N=71]
	100.0	52.1	14.1	9.9	11.3	16.3	7.0	0.0	14.1	2.8	0.0	9.9	26.8	5.6	0.0	9.9	29.6	14.1	1.4	15.5	21.1	18.3	1.4	31.0	28.2	1.4	4.2		
	276	49	17	3	2	11	4	1	11	6	3	5	12	3	4	3	26	15	11	1	13	12	12	0	25	20	4	3	[N=90]
	100.0	54.4	18.9	3.3	2.2	12.2	4.4	1.1	12.2	6.7	3.3	5.6	13.3	3.3	4.4	3.3	28.9	16.7	12.2	1.1	14.4	13.3	13.3	0.0	27.8	22.2	4.4	3.3	
	252	55	12	0	1	6	3	1	11	2	1	4	6	4	3	10	16	17	7	1	8	14	14	3	27	19	4	3	[N=84]
	100.0	65.5	14.3	0.0	1.2	7.1	3.6	1.2	13.1	2.4	1.2	4.8	7.1	4.8	3.6	11.9	19.0	20.2	8.3	1.2	9.5	16.7	16.7	3.6	32.1	22.6	4.8	3.6	
	204	58	7	0	1	0	6	0	21	0	1	1	2	2	5	2	9	17	0	0	11	12	13	0	12	18	5	1	[N=84]
	100.0	69.0	8.3	0.0	1.2	0.0	7.1	0.0	23.0	0.0	1.2	1.2	2.4	2.4	6.0	2.4	10.7	20.2	0.0	0.0	13.1	14.3	15.5	0.0	14.3	21.4	6.0	1.2	
	111	31	5	5	0	0	1	3	10	0	2	5	1	2	7	1	1	8	1	0	6	1	9	0	8	3	0	1	[N=44]
	100.0	70.5	11.4	11.4	0.0	0.0	2.3	6.8	22.7	0.0	4.5	11.4	2.3	4.5	15.9	2.3	18.2	2.3	0.0	13.6	2.3	20.5	0.0	18.2	6.8	0.0	2.3		

Q12 あなたが参加してみたいスポーツイベント・教室等はどれですか。【複数選択可】

「健康づくりを中心としたもの」が46.1%、「初心者を対象としたもの」が36%、次いで「ライフステージに合わせたもの（子ども、女性、男性、高齢者）」が27.9%となっている。 (N=408)

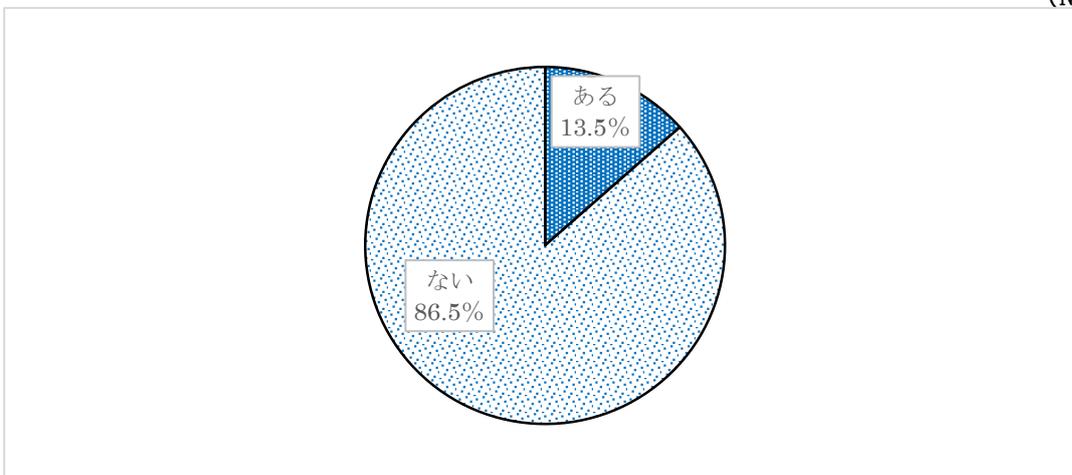


	全体	初心者 を対象 とした もの	健康 づく り を 中 心 と し た も の	家 族 で 参 加 で き る も の	性 せ ラ イ フ ス テ ー ジ に 合 わ せ た も の (子 ど も 、 女 性 、 男 性 、 高 齢 者)	も 障 が い 者 を 対 象 と し た も の	指 導 者 養 成 も の	特 に な し	そ の 他	
全体	645	147	188	76	114	14	10	92	4	【N=408】
	100.0	36.0	46.1	18.6	27.9	3.4	2.5	22.5	1.0	
20~29歳	48	14	12	8	5	1	1	7	0	【N=35】
	100.0	40.0	34.3	22.9	14.3	2.9	2.9	20.0	0.0	
30~39歳	125	26	25	28	31	1	2	11	1	【N=71】
	100.0	36.6	35.2	39.4	43.7	1.4	2.8	15.5	1.4	
40~49歳	143	33	35	17	30	3	2	22	1	【N=90】
	100.0	36.7	38.9	18.9	33.3	3.3	2.2	24.4	1.1	
50~59歳	135	32	35	16	17	6	1	26	2	【N=84】
	100.0	38.1	41.7	19.0	20.2	7.1	1.2	31.0	2.4	
60~69歳	128	31	53	4	20	1	0	19	0	【N=84】
	100.0	36.9	63.1	4.8	23.8	1.2	0.0	22.6	0.0	
70~79歳	66	11	28	3	11	2	4	7	0	【N=44】
	100.0	25.0	63.6	6.8	25.0	4.5	9.1	15.9	0.0	

Q13 過去5年以内に、スポーツや運動に関する指導や協力、スポーツ大会の運営等、スポーツに関するボランティア活動を行ったことがありますか。【1つ選択】

「ある」が13.5%、「ない」が86.5%となっている。

(N=408)



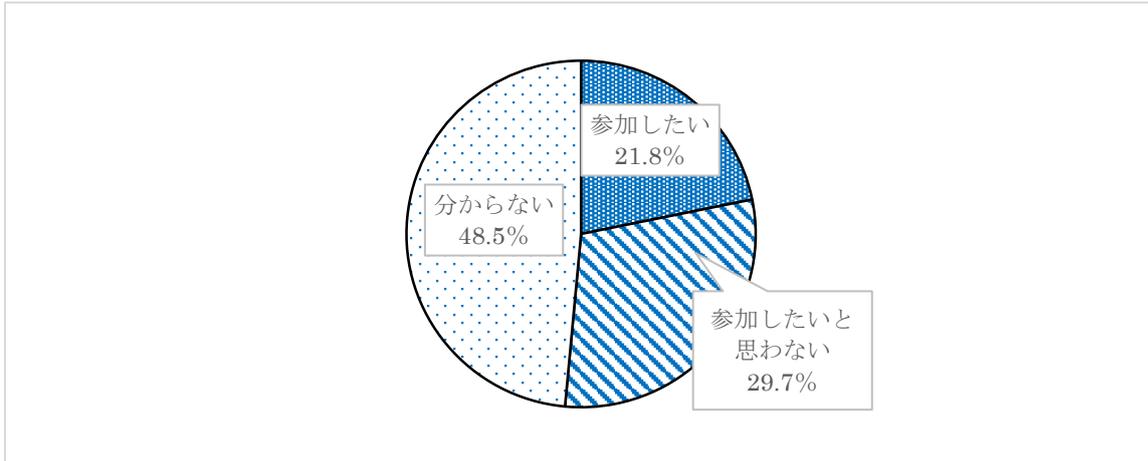
	全体	ある	ない
全体	408	55	353
	100.0	13.5	86.5
20～29歳	35	4	31
	100.0	11.4	88.6
30～39歳	71	5	66
	100.0	7.0	93.0
40～49歳	90	18	72
	100.0	20.0	80.0
50～59歳	84	11	73
	100.0	13.1	86.9
60～69歳	84	10	74
	100.0	11.9	88.1
70～79歳	44	7	37
	100.0	15.9	84.1

**Q14 今後、スポーツイベント(国体を含む)や教室などのボランティア募集があった場合、参加したいと
 思いますか。【1つ選択】**

「分からない」が48.5%と最も高く、次いで「参加したいと思わない」が29.7%、「参加したい」が21.8%となっている。

20代、70代では「参加したい」と回答した割合が高い。

(N=408)

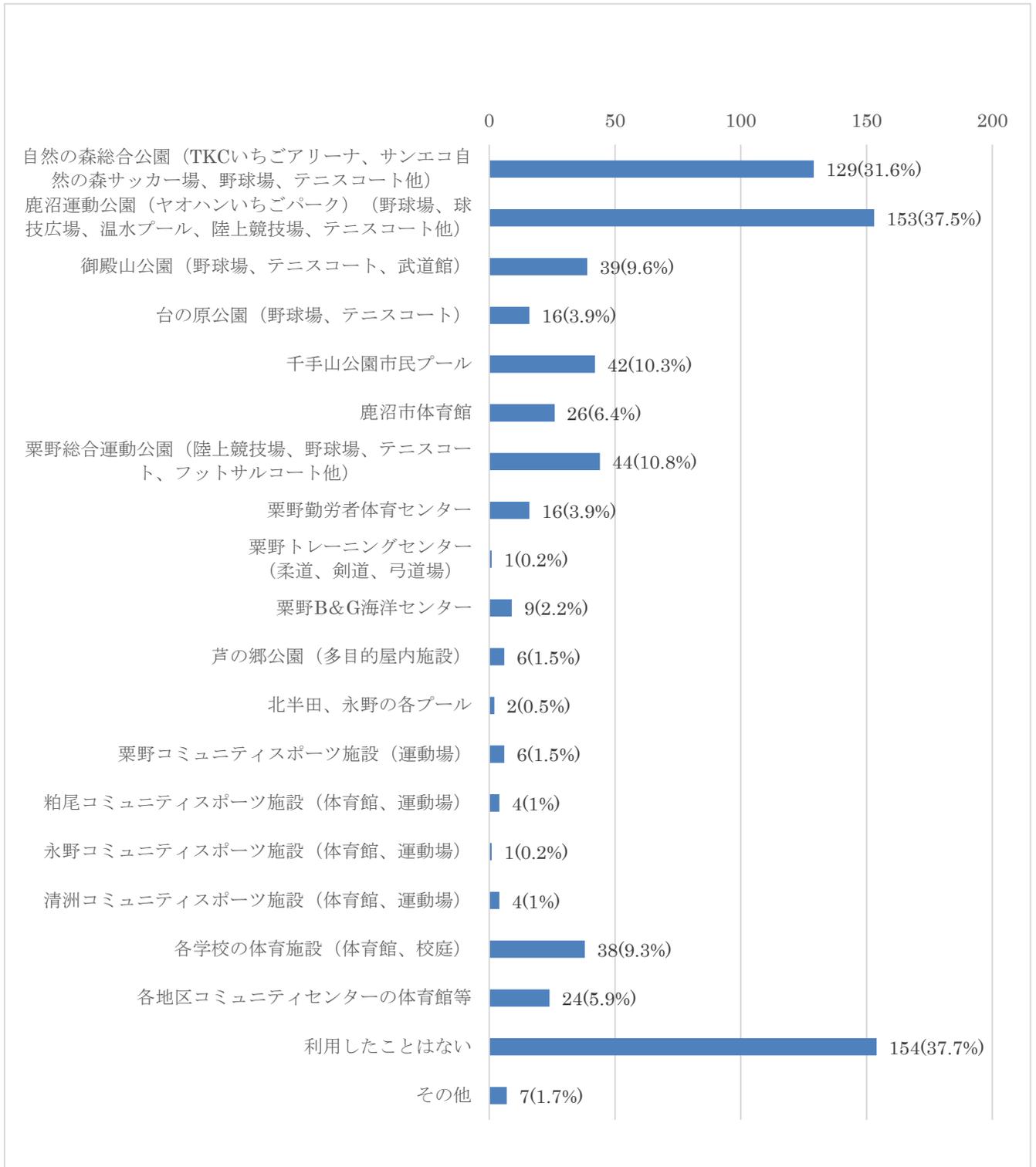


	全体	参加したい	参加したいと思わない	分からない
全体	408	89	121	198
	100.0	21.8	29.7	48.5
20～29歳	35	12	10	13
	100.0	34.3	28.6	37.1
30～39歳	71	16	25	30
	100.0	22.5	35.2	42.3
40～49歳	90	15	27	48
	100.0	16.7	30.0	53.3
50～59歳	84	14	25	45
	100.0	16.7	29.8	53.6
60～69歳	84	18	25	41
	100.0	21.4	29.8	48.8
70～79歳	44	14	9	21
	100.0	31.8	20.5	47.7

Q15 あなたが、過去(ここ数年)に利用したことがあるスポーツ施設はどこですか。【複数選択可】

「利用したことはない」が 37.7%、次いで、「鹿沼運動公園」が 37.5%、「自然の森総合公園」が 31.6%、「栗野総合運動公園」が 10.8%となっている。

(N=408)

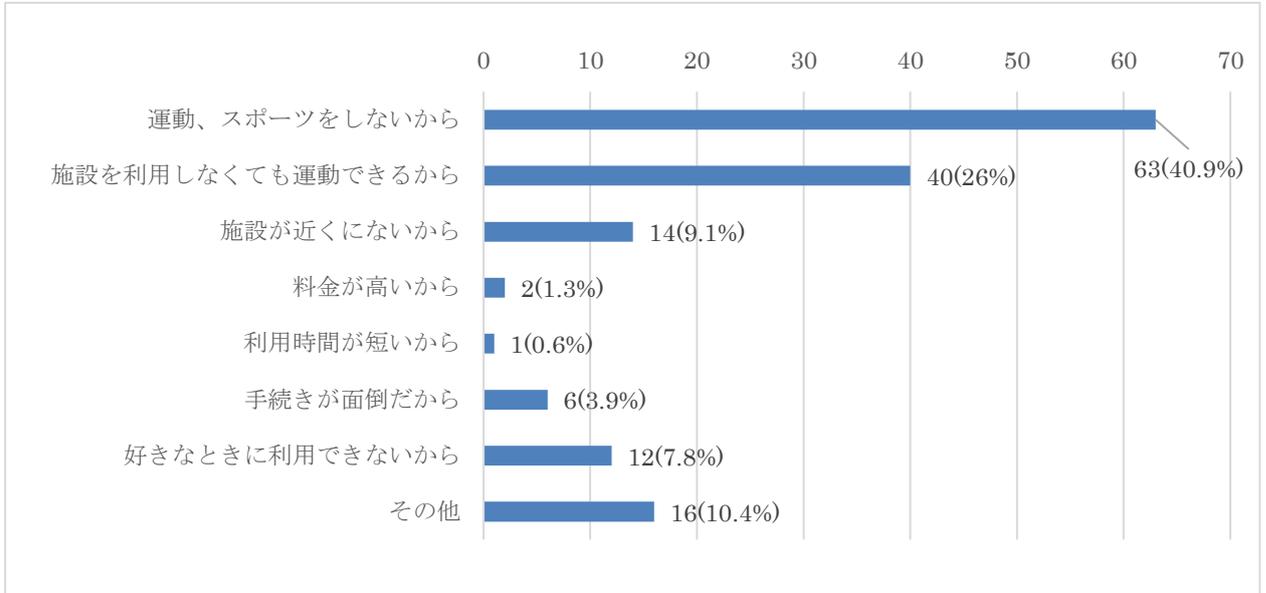


	全体	自然の森総合公園	鹿沼運動公園	御殿山公園	台原公園	千手山公園市民プール	鹿沼市体育館	鹿沼総合運動公園	大野勤労者体育セン	大野トレーニングセン	大野B & G 海洋セン	戸の郷公園	北半田、永野の各プー	大野スポーツコミュニティ	大野尾スポーツコミュニティ	永野スポーツコミュニティ	大洲スポーツコミュニティ	各学校の体育館	各地区のコミュニティセンター	利用したことはない	その他	
	721	129	153	39	16	42	26	44	16	1	9	6	2	6	4	1	4	38	24	154	7	[N=408]
全体	1000	316	375	96	39	103	64	108	39	0.2	2.2	1.5	0.5	1.5	1.0	0.2	1.0	9.3	5.9	37.7	1.7	
20~29歳	68	12	14	6	0	4	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	12	0	[N=65]
	1000	343	400	17.1	0.0	11.4	17.1	11.4	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.1	5.7	34.3	0.0	
30~39歳	122	26	28	5	4	7	3	5	2	0	0	0	0	0	0	0	2	5	5	30	0	[N=71]
	1000	366	394	7.0	5.6	9.9	4.2	7.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	7.0	7.0	42.3	0.0	
40~49歳	185	36	42	9	3	15	7	11	7	0	7	0	2	2	1	0	1	14	5	23	0	[N=60]
	1000	400	467	10.0	3.3	16.7	7.8	12.2	7.8	0.0	7.8	0.0	2.2	2.2	1.1	0.0	1.1	15.6	5.6	25.6	0.0	
50~59歳	153	29	32	9	1	11	4	8	2	1	2	0	0	3	1	0	0	8	6	32	4	[N=64]
	1000	345	381	10.7	1.2	13.1	4.8	9.5	2.4	1.2	2.4	0.0	0.0	3.6	1.2	0.0	0.0	9.5	7.1	38.1	4.8	
60~69歳	135	17	26	4	6	4	4	12	3	0	0	3	0	1	1	1	1	5	3	43	1	[N=64]
	1000	202	31.0	4.8	7.1	4.8	4.8	14.3	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	1.2	1.2	1.2	1.2	6.0	3.6	51.2	1.2	
70~79歳	58	9	11	6	2	1	2	4	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	14	2	[N=44]
	1000	205	25.0	13.6	4.5	2.3	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	6.8	31.8	4.6	

**Q16 Q15で「利用したことはない」と答えた方にお伺いします。利用しない理由はなんですか。
【1つ選択】**

「運動・スポーツをしないから」が40.9%と最も高く、次いで「施設を利用しなくても運動できるから」が26%、「その他」が10.4%となっている。

(N=154)

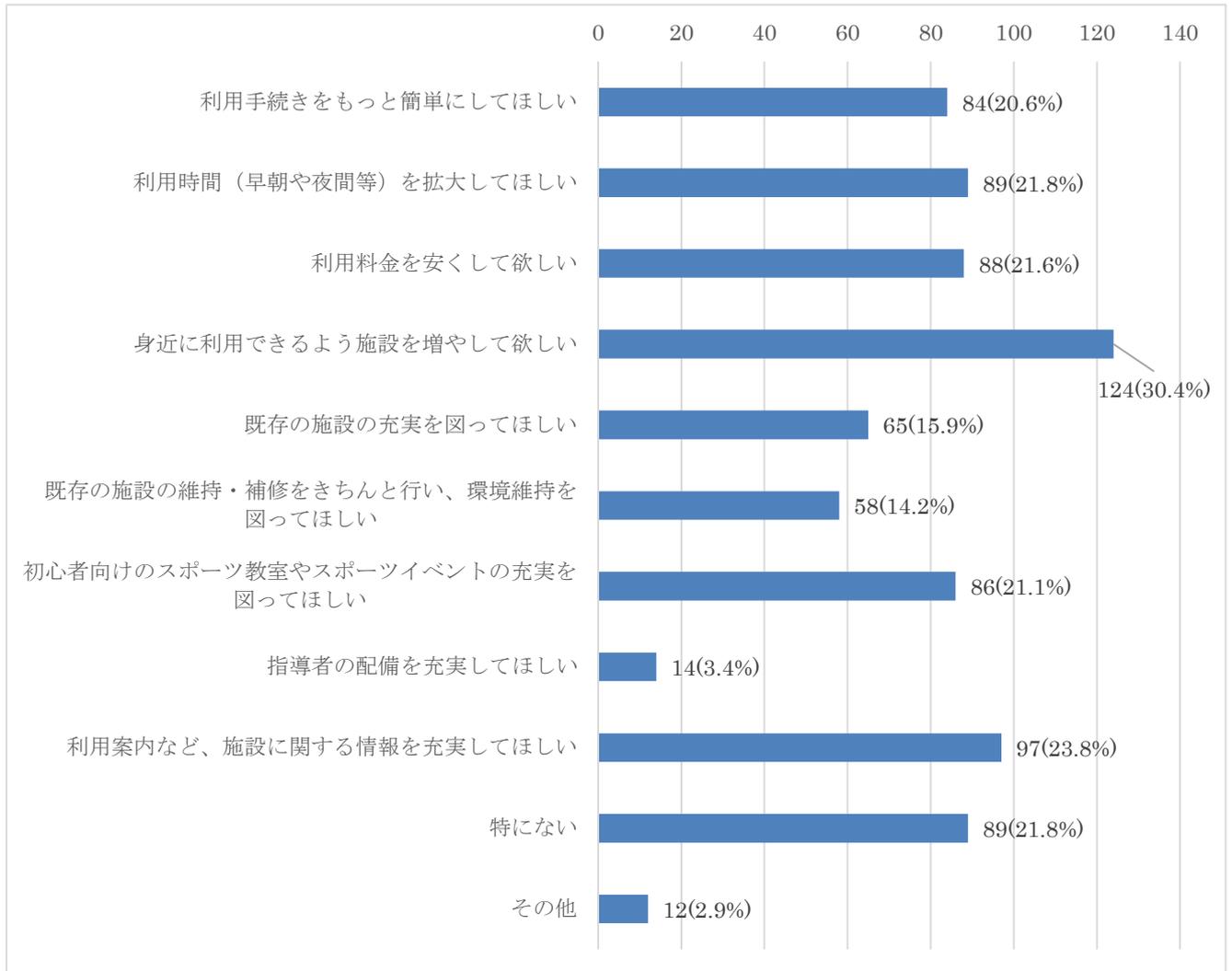


	全体	運動、スポーツをしないから	施設を利用しなくても運動できるから	施設が近くにないから	料金が安いから	利用時間が短いから	手続きが面倒だから	好きなときに利用できないから	その他	
全体	154	63	40	14	2	1	6	12	16	【N=154】
	100.0	40.9	26.0	9.1	1.3	0.6	3.9	7.8	10.4	
20～29歳	12	4	3	2	0	0	1	0	2	【N=12】
	100.0	33.3	25.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	
30～39歳	30	15	5	3	0	0	3	2	2	【N=30】
	100.0	50.0	16.7	10.0	0.0	0.0	10.0	6.7	6.7	
40～49歳	23	13	5	0	0	1	0	2	2	【N=23】
	100.0	56.5	21.7	0.0	0.0	4.3	0.0	8.7	8.7	
50～59歳	32	14	4	5	2	0	2	2	3	【N=32】
	100.0	43.8	12.5	15.6	6.3	0.0	6.3	6.3	9.4	
60～69歳	43	12	18	3	0	0	0	4	6	【N=43】
	100.0	27.9	41.9	7.0	0.0	0.0	0.0	9.3	14.0	
70～79歳	14	5	5	1	0	0	0	2	1	【N=14】
	100.0	35.7	35.7	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	

Q17 あなたが、鹿沼市のスポーツ施設に望むことは何ですか。【複数選択可】

「身近に利用できるよう施設を増やして欲しい」が30.4%と最も高く、次いで「利用案内など、施設に関する情報を充実して欲しい」が23.8%となっている。

(N=408)

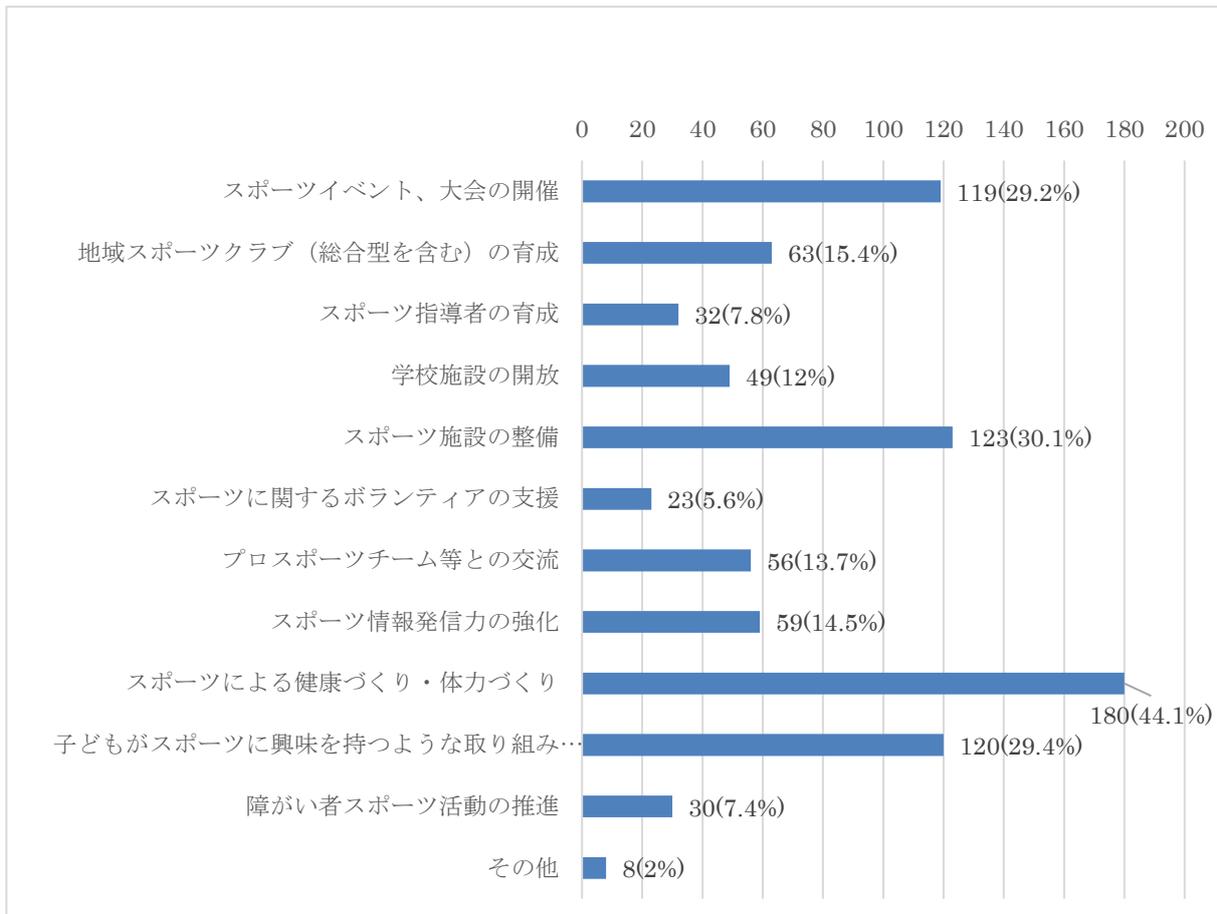


	全体	単 利 に し て ほ し い	等 利 を 拡 大 し て ほ し い	利 用 料 金 を 安 く し て ほ し い	施 設 を 増 や し て ほ し い う	図 つ て ほ し い の 施 設 の 充 実 を	既 存 の 施 設 の 充 実 を 図 つ て ほ し い 環 境 維 持 を 図 つ て ほ し い 環 境 維 持 を 図 つ て ほ し い 環 境 維 持	い ト の 充 実 を 図 つ て ほ し い	指 導 者 の 配 備 を 充 実 し て ほ し い	ほ し い 情 報 を 充 実 し て ほ し い	特 に な い	そ の 他	
全体	806	84	89	88	124	65	58	86	14	97	89	12	【N=408】
	100.0	20.6	21.8	21.6	30.4	15.9	14.2	21.1	3.4	23.8	21.8	2.9	
20～29歳	71	8	12	12	9	4	3	7	1	6	9	0	【N=35】
	100.0	22.9	34.3	34.3	25.7	11.4	8.6	20.0	2.9	17.1	25.7	0.0	
30～39歳	162	17	22	21	19	12	14	18	0	24	11	4	【N=71】
	100.0	23.9	31.0	29.6	26.8	16.9	19.7	25.4	0.0	33.8	15.5	5.6	
40～49歳	184	19	21	22	32	17	18	14	3	19	16	3	【N=90】
	100.0	21.1	23.3	24.4	35.6	18.9	20.0	15.6	3.3	21.1	17.8	3.3	
50～59歳	158	19	17	19	25	12	7	13	5	17	21	3	【N=84】
	100.0	22.6	20.2	22.6	29.8	14.3	8.3	15.5	6.0	20.2	25.0	3.6	
60～69歳	163	14	11	10	29	15	12	24	4	26	17	1	【N=84】
	100.0	16.7	13.1	11.9	34.5	17.9	14.3	28.6	4.8	31.0	20.2	1.2	
70～79歳	68	7	6	4	10	5	4	10	1	5	15	1	【N=44】
	100.0	15.9	13.6	9.1	22.7	11.4	9.1	22.7	2.3	11.4	34.1	2.3	

Q18 鹿沼市では、だれもがスポーツを楽しみ、豊かな人生を送れるよう「市民ひとり1スポーツ」の推進を目指しています。今後どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。【1つ選択】

「スポーツによる健康づくり・体力づくり」が44.1%と最も高く、次いで「スポーツ施設の整備」が30.1%、「子どもがスポーツに興味をもつような取り組み」が29.4%、「スポーツイベント、大会の開催」が29.2%となっている。

(N=408)



	全体	会の開催	成	ス	学	ス	ス	テ	プ	強	く	上	の	そ	
	862	119	63	32	49	123	23	56	59	180	120	30	8		
	100.0	29.2	15.4	7.8	12.0	30.1	5.6	13.7	14.5	44.1	29.4	7.4	2.0		
20～29歳	79	15	4	4	6	10	4	7	3	15	9	2	0		
	100.0	42.9	11.4	11.4	17.1	28.6	11.4	20.0	8.6	42.9	25.7	5.7	0.0		
30～39歳	158	29	12	2	9	16	6	13	11	23	30	5	2		
	100.0	40.8	16.9	2.8	12.7	22.5	8.5	18.3	15.5	32.4	42.3	7.0	2.8		
40～49歳	187	23	14	6	12	33	4	17	5	33	31	5	4		
	100.0	25.6	15.6	6.7	13.3	36.7	4.4	18.9	5.6	36.7	34.4	5.6	4.4		
50～59歳	178	24	12	6	11	28	2	12	16	40	20	7	0		
	100.0	28.6	14.3	7.1	13.1	33.3	2.4	14.3	19.0	47.6	23.8	8.3	0.0		
60～69歳	177	19	14	10	9	21	2	6	19	49	19	7	2		
	100.0	22.6	16.7	11.9	10.7	25.0	2.4	7.1	22.6	58.3	22.6	8.3	2.4		
70～79歳	83	9	7	4	2	15	5	1	5	20	11	4	0		
	100.0	20.5	15.9	9.1	4.5	34.1	11.4	2.3	11.4	45.5	25.0	9.1	0.0		

Q19 女性のスポーツ実施率が低い統計がありますが、女性がスポーツに取り組むための環境づくりに最も大切なことは何だと思えますか。【1つ選択】

「家事・子育ての負担軽減」が最も多く 40.9%、「続けられるスポーツの紹介や教室」が 31.1%、「分からない」が 10%となっています。

20代から40代は「家事・子育ての負担軽減」の割合が最も高く、50代から70代は「続けられるスポーツの紹介や教室」の割合が高い。

(N=408)



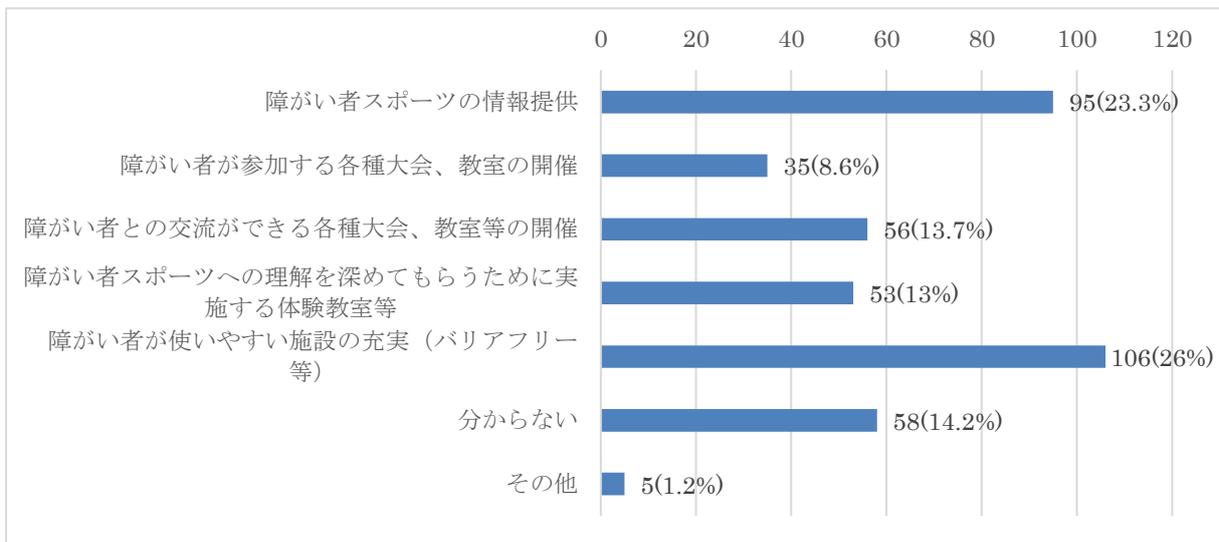
	全体	家事・子育ての負担軽減	女性理解できる指導者の存在	女性へのハラスメント防止及び周知	幼少期からのスポーツ・遊びの習慣づけ	続けられるスポーツの紹介や教室	分からない	その他
全体	408	167	20	15	28	127	41	10
	100.0	40.9	4.9	3.7	6.9	31.1	10.0	2.5
20～29歳	35	16	1	6	2	6	2	2
	100.0	45.7	2.9	17.1	5.7	17.1	5.7	5.7
30～39歳	71	46	3	2	5	10	3	2
	100.0	64.8	4.2	2.8	7.0	14.1	4.2	2.8
40～49歳	90	44	3	1	5	26	5	6
	100.0	48.9	3.3	1.1	5.6	28.9	5.6	6.7
50～59歳	84	26	6	4	5	29	14	0
	100.0	31.0	7.1	4.8	6.0	34.5	16.7	0.0
60～69歳	84	19	6	1	10	36	12	0
	100.0	22.6	7.1	1.2	11.9	42.9	14.3	0.0
70～79歳	44	16	1	1	1	20	5	0
	100.0	36.4	2.3	2.3	2.3	45.5	11.4	0.0

Q20 障がい者のスポーツ(※)機会を充実させるためには、どのようなことが効果的だと思いますか。
 ※S T T (サウンドテーブルテニス)、車いすバスケットボール、ボッチャ等

「障がい者が使いやすい施設の充実 (バリアフリー等)」が 26%、「障がい者スポーツの情報提供」が 23.3%、「障がい者との交流ができる各種大会、教室等の開催」が 13.7%となっている。

20代、40代は「障がい者スポーツの情報提供」の割合が最も高い。30代は「障がい者スポーツの情報提供」が最も高いが、「障がい者が使いやすい施設の充実」の割合も同じくらい高い。50代から70代は「障がい者が使いやすい施設の充実」の割合が高くなっていく。

(N=408)



	全体	障がい者スポーツの情報提供	障がい者が参加する各種大会、教室の開催	障がい者との交流ができる各種大会、教室等の開催	障がい者スポーツへの理解を深めてもらうために実施する体験教室等	障がい者が使いやすい施設の充実 (バリアフリー等)	分からない	その他
全体	408	95	35	56	53	106	58	5
	100.0	23.3	8.6	13.7	13.0	26.0	14.2	1.2
20～29歳	35	9	3	6	6	6	5	0
	99.9	25.7	8.6	17.1	17.1	17.1	14.3	0.0
30～39歳	71	20	5	7	11	17	10	1
	100.0	28.2	7.0	9.9	15.5	23.9	14.1	1.4
40～49歳	90	30	7	13	8	17	14	1
	100.0	33.3	7.8	14.4	8.9	18.9	15.6	1.1
50～59歳	84	15	7	10	7	28	15	2
	100.0	17.9	8.3	11.9	8.3	33.3	17.9	2.4
60～69歳	84	15	9	12	14	24	9	1
	100.0	17.9	10.7	14.3	16.7	28.6	10.7	1.2
70～79歳	44	6	4	8	7	14	5	0
	100.0	13.6	9.1	18.2	15.9	31.8	11.4	0.0

【資料 編】

○ スポーツ基本法（抜粋）

（地方スポーツ推進計画）

第十条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあっては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

（都道府県及び市町村のスポーツ推進審議会等）

第三十一条 都道府県及び市町村に、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関（以下「スポーツ推進審議会等」という。）を置くことができる。

○ 鹿沼市スポーツ推進審議会条例（抜粋）

（設置）

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条の規定に基づき、本市に鹿沼市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（平成23条例33・一部改正）

（組織）

第2条 審議会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから鹿沼市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命し、又は委嘱する。

(1) 知識経験を有する者

(2) 関係行政機関の職員

（昭和53条例8・平成23条例33・一部改正）

（庶務）

第7条 審議会の庶務は、教育委員会において処理する。

1 スポーツ推進審議会委員名簿

氏 名	所 属 (役職名)	備 考
江 田 光 好	鹿沼市スポーツ協会会長	
枝 村 重 利	鹿沼市スポーツ少年団副本部長	
小 川 修 一	鹿沼市スポーツ推進委員会副会長	
畑 芳 春	上都賀郡市南部地区医師会 鹿沼市スポーツ委員長	
斎 藤 美 智 雄	鹿沼地区中学校体育連盟会長	
岸 野 紘 之	元鹿沼市体育協会理事長	
鈴 木 明 美	鹿沼市スポーツ少年団理事 千渡スポーツ少年団代表指導者	
阿 部 尚	元鹿沼北光スポーツ少年団団長	
倉 野 和 樹	鹿沼市社会福祉協議会	
荒 川 一 志	上都賀教育事務所	

第 2 期鹿沼市スポーツ推進計画

令和 4 年 3 月

〒322-0017 栃木県鹿沼市下石川 694-1

鹿沼市教育委員会事務局スポーツ振興課

電話：0289-63-2255
